

「地域における成長産業（農業、観光、エネルギー、医療、介護等）への支援」の事例（全41事例）

銀行名	事例名	頁
青森	「あおぎん『食の名匠』養成塾」の開塾	1
青森	産学官金連携による寒冷地型植物工場の新設および6次産業化への取組み支援	2
岩手	再生可能エネルギーの普及に向けた取組み	3
東北	地方自治体との連携プロジェクト	4
北都	日本製紙ウェンティ風力株式会社に対するプロジェクトファイナンス	5
荘内	とうほくのみらい応援（6次産業化）ファンドを活用した被災地のアグリ・6次産業化支援	6
足利	「あしぎんPFI塾」の開催	7
武蔵野	地域包括ケアシステムの一角を担うワンストップ在宅ステーション開設支援	8
第四	自治体への観光分野でのマッチング支援	9
北越	「花火玉」を担保とした資金調達スキームの提供	10
山梨中央	山梨中銀ツーリズム支援デスクの設置について	11
山梨中央	地域の医療介護ニーズへの対応支援	12
山梨中央	省エネルギー対策支援	13
北陸	6次産業化ファンド出資事例 能登のワイナリーによるレストラン経営支援	16
富山	地方創生に係る地域ブランド品のビジネスマッチング成約による新規融資の取扱	17
福井	「ふくい観光活性化ファンド」設立による地域活性化支援の取組み（H27.8.5設立）	18
十六	長良川DMOとの連携による観光産業への支援	19
静岡	事業性評価を活用した地域活性化への取組み	20
静岡	地域インバウンド対応支援	21
静岡	地方創生ローンによる地域開発資金の支援	24
静岡	M&Aによる後継者問題の解決および地域医療体制の維持	25
滋賀	地域における成長産業への支援	26
京都	企業の農業分野への進出に関するセミナーの開催	29
但馬	観光DMOへの参画	30
中国	地域資源を活用した産学官金連携事例	31
阿波	「瀬戸内ブランドコーポレーション」「せとうち観光活性化ファンド」を設立	32
百十四	農林漁業成長産業化ファンドを活用した6次産業化支援	33
伊予	「せとうちDMO」への参画による観光支援の取組み	34
伊予	「ものづくり支援チーム」による地域産業の課題解決の取組み	39
四国	量販店の6次産業化・農業法人設立支援	40
筑邦	PPP事業（自治体による電力小売事業）への取組み	41
筑邦	ABL（動産担保）を活用した融資の取組み	42
佐賀	地域における成長産業への支援（6次産業化支援）	43
佐賀	医療機関（病院）病床機能転換の支援取組み事例	44
親和	「水産事業者向け個別相談会」の開催（産学連携の取組強化）	45
肥後	食と観光に関するフェア実施による国内外に向けた情報発信	46
肥後	県内医療機関への取引推進	47
宮崎	オール宮崎産の地ビール製造支援の取組み	48
宮崎	「妙見（みょうけん）温泉郷」活性化への取組み	50
鹿児島	自治体向け観光商談会	52
鹿児島	システムソフトを活用した医業分野の推進について	53

銀行名	青森銀行
タイトル	「 あおぎん 『食の名匠』養成塾」の開塾
取組み内容	<p>1．経緯</p> <p>青森県の平成 26 年農業産出額は 2,879 億円（東北 1 位、全国 8 位）であり、本県は全国でも有数の食料生産県である。</p> <p>一方で、県内で生産される食用農林水産物の多くが生鮮のまま県外へ出荷されている中、加工食品の原料となる中間加工品（一次加工品）の多くが県外から移入されている等、県内において付加価値の創出が十分に行われていない現状がある。</p> <p>このような現状認識と併せて、政府による輸出も含めた農林水産業の成長産業化の促進を機会と捉え、「儲かる商い」を実現できる事業者の育成を目的とし、国立大学法人弘前大学食料科学研究所との共催により、「 あおぎん 『食の名匠』養成塾」を開塾した。</p> <p>2．取組内容</p> <p>地域連携や収支に関する考え方、機能性、衛生管理、販売戦略（WEB・デザイン）輸出等、幅広くテーマを設定し、産学官金が一体となって用意した 13 カリキュラムを塾生 43 名が受講。塾生は、これら一連のカリキュラムにより習得した知識を活用しながら、今後のビジネスプランを策定した。</p> <p>3．成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塾生とのリレーション強化および事業性把握の深化により、複数先との新規融資取引開始に繋がった。</li> <li>・農産物の一次加工業務に関し、塾生間での取引成約に至っている。</li> <li>・今後は塾生が策定したビジネスプランの実現に向けて引き続き支援を行う。</li> </ul>

銀行名	青森銀行
タイトル	産学官金連携による寒冷地型植物工場の新設および6次産業化への取組み支援
取組み内容	<p>1. 経緯</p> <p>当事業を担ったA社(土木・造園工事業)の代表は、以前より県内外のアグリ関連セミナーに積極的に参加しており、農業に強い関心を持っていた。</p> <p>青森県は全国的に見ても農業が盛んな県である一方、降雪地域という特性から、農産物の栽培に適する期間が限定的であるという課題を抱えている。そこで当社は、寒冷期においても農産物を栽培できる環境インフラを整備したいとの思いにより、本事業を始めるに至った。</p> <p>本事業を産学官金連携により進めることにより、寒冷地による農産物栽培ビジネスモデルを構築することが狙い。当行では本事業価値に着目し、資金供給のみならず、産学官金連携の上取り組み支援を行ったもの。</p> <p>2. 取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動産担保融資の手法を活用した資金供給</li> <li>・収支計画策定支援</li> <li>・県内企業とのビジネスマッチング</li> </ul> <p>型崩れした商品については市場に出荷できずにいることから、当行より青果加工業者等を紹介する等の販路拡大支援を実施。</p> <p>産学官金の各役割は下表の通り。</p> <div data-bbox="558 1209 1340 1736" data-label="Diagram"> <p>The diagram illustrates the roles of four stakeholders in supporting Company A (A社):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>産 (Industry):</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマス熱利用と地下水ヒートポンプのハイブリッド加温システムの導入</li> <li>・設備メンテナンス、改善提案</li> </ul> </li> <li><b>学 (Academia):</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術指導</li> <li>・環境制御技術指導</li> <li>・地下水、沢水の水温利用</li> </ul> </li> <li><b>官 (Government):</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家派遣</li> <li>・栽培技術者派遣</li> <li>・補助金交付</li> <li>・先進事例の視察</li> </ul> </li> <li><b>金 (Finance):</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金供給</li> <li>・収支計画策定支援</li> <li>・販路開拓支援</li> </ul> </li> </ul> </div> <p>3. 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒冷地における新たな農業参入ビジネスモデルの構築支援。</li> <li>・木質バイオマスを活用した熱供給による環境負荷軽減への貢献。</li> <li>・斯かる取組みが、マスコミや業界紙等に取上げられA社の認知度が向上。今後は出荷量・品質ともにさらなる向上を目指し、収益機会拡大を図る。</li> </ul>

銀行名	岩手銀行
タイトル	再生可能エネルギーの普及に向けた取組み
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  平成24年7月に「固定価格買取制度」が実施されて以降、マーケットが拡大した再生可能エネルギー事業を成長産業と捉え、クリーンなエネルギーである再生可能エネルギーの普及に向けた事業化支援を実施している。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門業者や事業用地の紹介などのビジネスマッチングを通じたソリューション営業を展開することで事業化を支援。</li> <li>(2) 売電債権等に対する質権設定や発電設備一式を集合動産譲渡担保として取得するなど、ABL手法を活用した不動産担保に依存しないスキームの提供により事業化を支援。</li> <li>(3) 当行がアレンジャーとなり東北主要地銀6行（当行、青森、秋田、七十七、山形及び東邦）で、県内の大型メガソーラー事業プロジェクトファイナンスを組成。平成27年12月から運転開始済み。</li> <li>(4) 県内外の再生可能エネルギー事業向けプロジェクトファイナンスに融資金融機関として積極的に参加。</li> </ul> <p><b>【取組効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 再生可能エネルギー事業への進出が実現し、地域エネルギーの創出に寄与するとともに新たな収益機会を獲得。</li> <li>(2) 当行にとっても、東北主要地銀をリードしてプロジェクトファイナンスを組成できるクオリティを有していることを対外的にアピールした。</li> </ul>

銀行名	東北銀行
タイトル	地方自治体との連携プロジェクト
取組み内容	<p>当行では、平成 25 年 12 月に遠野市と「農林水産業の活性化に関する業務推進協定」を締結し、この連携プロジェクトから、平成 27 年 2 月に「遠野 どぶろく飴」が商品化、発売されましたが、今般、同プロジェクトから第 2 弾商品として、「わかめのディップソース」が発売されました。わかめを使用したディップソースは国内初となります。</p> <p>本商品は、当行の食のアドバイザーである(株)パイロットフィッシュ・五日市知香氏が、大船渡市漁協末崎地区女性部の方々が開発したホワイトソースの商品化を検討していたところ、当行と遠野市が 6 次産業化に向けて連携企画し、一般社団法人遠野ふるさと公社が商品化を実現致しました。一般社団法人遠野ふるさと公社が運営する遠野市内観光施設のほか、盛岡市内の商業施設でも販売されております。</p> <p>当行では今後も地方公共団体と連携を図りながら、地域の課題やニーズに対して金融機関としての情報・ノウハウを提供し、ネットワークを活用するなどして地域力の向上に努めてまいります。</p> <div data-bbox="1088 994 1377 1279" data-label="Image"> </div>

銀行名	北都銀行
タイトル	日本製紙ウエンティ風力株式会社に対するプロジェクトファイナンス
取組み内容	<p>秋田県内には 140 基以上の風力発電所があるが、その殆どが大手商社などの資本が独占しており、地域資源から創出される経済効果は県外に流出している状況。</p> <p>平成 24 年の FIT 制度開始より、地元企業も風力発電事業に取り組み易い状況となり、平成 24 年 9 月に地元企業とともに風力発電会社「ウエンティ・ジャパン」を設立。日本海側の優れた風資源を活用し発電施設の開発や運営、保守・管理等の関連付随事業を展開する計画。</p> <p>前述の幣行パートナー企業である(株)ウエンティ・ジャパンと日本製紙(株)の 2 社がスポンサーとして SPC「日本製紙ウエンティ風力(株)」を設立。</p> <p>秋田県秋田市向浜地区の日本製紙秋田工場隣地に 2,500kW 級の風車を 3 基設置する計画で、上記の SPC とプロジェクトファイナンス契約を締結。</p>

銀行名	荘内銀行
タイトル	とうほくのみらい応援(6次産業化)ファンドを活用した被災地のアグリ・6次産業化支援
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年3月の東日本大震災により名取北釜地区の農家が甚大な津波被害を受けた。その際、被災農家が隣県である山形県の個人や企業から支援を受けたことが契機となり、農業を再開するにあたり、山形の企業をビジネスパートナーとすべく、農業再開するための資金調達や販路のマッチングについて当行へ相談。</li> <li>・7戸の被災農家が名取市の補助金等使いながら、ハウス144棟で農業再開。補助金申請に際しても当行でサポート。</li> <li>・また、農業だけでなく、1次加工等の6次産業化に向けた取り組みを開始すべく生産管理システムや商品パッケージ、販路については山形県内企業を紹介し、マッチングに成功。6次産業の事業を開始するにあたり、単なるマッチングだけでなく、それら企業に資本面での協力を仰ぎ、とうほくのみらい応援(6次産業化)ファンドを活用。</li> <li>・今後は1年目から3年目の第1フェーズを「生産基盤の確立」とし、4年目から7年目の第2フェーズを「安定販路の確保(B to B) 直接販路の開拓(B to C)」とし、8年目以降の最終フェーズを「2次加工品の製造」と位置付け、更なる6次産業化と地域貢献を進めていく予定。</li> <li>・当行としてもこのような復興支援をロールモデルとして引き続き、6次産業化ビジネスの支援を強化していく。</li> </ul>

銀行名	足利銀行
タイトル	「あしぎんPFI塾」の開催
取組み内容	<p>栃木県内では2件のPFIの取組み実績があるが、大手企業のアレンジによるものであり、地元企業によるPFI事業への参加に向けてノウハウの習得・向上、ネットワーク構築を目的として開催したものです。</p> <p>【主催】株式会社あしぎん総合研究所  【参加者】栃木県内企業17社（19名）  【講師】株式会社あしぎん総合研究所、一般財団法人日本経済研究所、当行</p> <p>【カリキュラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 平成27年4月17日（金）  栃木県が実施するPFI事業の説明、PFIの基礎知識</li> <li>・第2回 平成27年5月8日（金）  公表資料の見方、ワークショップ（地域資源を活用したプロジェクト）</li> <li>・第3回 平成27年5月29日（金）  公表資料の見方、  ワークショップ（設計建設部門について提案できること、地元経済活性化）</li> <li>・第4回 平成27年6月12日（金）  リスク分担について、ファイナンススキーム、  ワークショップ（リスク分担の考え方とリスク対応策）</li> <li>・第5回 平成27年6月26日（金）  PFI事業に参加した地域企業による体験談  地域企業と大手の連携事例、意見交換会</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した地元企業は、参加手法、公表資料の見方、提案方法などを習得、ワークショップを通じて地域経済活性化に向けた具体的な提案を検討することができた。</li> <li>・栃木県での総合スポーツゾーン東エリア整備運営事業のPFI事業が進行しており、地域企業の参加に向けた意識の醸成、ノウハウ向上につながった。</li> </ul>





銀行名	武蔵野銀行
タイトル	地域包括ケアシステムの一角を担うワンストップ在宅ステーション開設支援
取組み内容	<p>1．経緯</p> <p>(1) 同社はS市を拠点に訪問看護・訪問リハビリ事業を行い、また隣接した訪問診療所と医療介護の連携を行う事業者である。</p> <p>(2) 病院での治療を終えた終末期の患者や脳疾患等で、在宅医療、リハビリを必要とする患者に対する手厚い在宅ケアに定評があり、地域中核病院(市立病院及び大学病院)からの紹介が多く、常時待機患者がいる状況であった。</p> <p>(3) 当社では、より良いケアのための人材育成・教育に重点を置いているが、現在の事務所では手狭になり研修が間に合わなくなっていた。</p> <p>(4) そこで、新たに訪問診療(在宅医療)・訪問看護・訪問リハに、外来診療所、職員研修所が一体となった拠点建設(ワンストップ在宅ステーション)を計画(事業費478百万円)していたが、メイン行(メガバンク)が、事業計画に懸念を示したため、当行に相談があったもの。(平成27年10月)</p> <p>2．当行の取組</p> <p>(1) 当社は、地域中核病院と自社の訪問診療所、訪問看護及び介護の連携に実績があり、自社にて地域包括ケアを実践している当社の事業は地域に不可欠な存在になっている。(市健康福祉部からも評価を得ている。)</p> <p>(2) 1拠点ながら看護師10名、セラピスト30名が在籍しており、機能回復に着目したリハビリテーション(ホバーツ療法)の技術習得やその他OJTにより、業界平均より職員離職率が低くなっている。</p> <p>(3) 以上の点を事業評価し、地域の訪問医療介護のモデル事業になりうることも考慮の上、支援したもの。(28年1月)</p> <p>3．成果</p> <p>事業資金取扱383百万円(残額は自己資金)</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>

銀行名	第四銀行
タイトル	自治体への観光分野でのマッチング支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治体は観光分野の情報発信に力を入れているが、旅行会社との接点に乏しいため、PRする機会が少なかった。</li> <li>・上記のような悩みを抱える自治体が多くあったため、当行が毎年主催している食・環境・健康の展示商談会を活用して、28年3月に自治体向けの観光プロモーションの場を提供した。</li> </ul> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外から中堅の旅行会社11社を招聘し、県内16自治体との個別商談会を設定。</li> <li>・各自治体は旅行会社に対して地域の観光資源や特産品をアピールするとともに、来場者に対して地場産品の試食を行うブースを設けるなど、多面的な情報発信を支援。</li> </ul> <p><b>【自治体にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体からは、「旅行会社あてのプロモーション活動は県外に個別出向かねばならないうえ、大手をはじめとしてなかなか真剣に話を聞いてもらえないため苦労が多かった。県内に招聘してもらって一日で複数のプレゼンテーションができるうえ、きちんと話をきいてもらえる旅行会社ばかりであり、大変役に立った」との声が多くあった。</li> <li>・また、実際に旅行会社のパック商品に、今回の参加自治体の周遊が組み込まれるなど、成果に繋がっている。</li> </ul>

銀行名	北越銀行
タイトル	「花火玉」を担保とした資金調達スキームの提供
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県の花火の生産量は全国でも上位に位置しているほか、新潟市や長岡市などの花火大会は大規模に開催され、県内における花火業界・煙火業界は観光などの面からも重要な産業の一つとなっている。</li> <li>煙火業を営むA社は、新潟県小千谷市片貝の花火大会において、製造した花火玉「四尺玉」を世界で初めて打ち上げるなど、業績を積み上げてきた。</li> <li>しかし、A社の資金面においては、例年、売上代金の回収が秋口に集中し、それまでの間、原材料費や人件費等の支払いが先行するといった課題があった。</li> <li>このようななか、当行は、A社の資金繰り支援とともに地場産業の育成支援を図るため、「花火玉」の価値やその販売先、製品の厳格な管理方法等に着目し、資金調達スキームを検討した。</li> </ul> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A社とリレーションを図り、ニーズを把握するなかで、全国にも例のない花火玉を担保としたABL契約を提案し、締結に至った。</li> <li>契約締結後もフォローも継続的におこない、資金面全体の支援をおこなっている。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本件の花火玉を担保とした資金調達スキームの提供は、お客さまのニーズ充足と地場産業の活性化支援を図ったもの。</li> <li>引き続き、事業特性に着目した資金調達スキームを提供するなど、地場産業への支援を強化していく。</li> </ul> <div data-bbox="716 1464 1098 2033" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	山梨中央銀行
タイトル	山梨中銀ツーリズム支援デスクの設置について
取組み内容	<p><b>【取組み経緯】</b>  東京圏に隣接している山梨県は、富士山、八ヶ岳をはじめとした自然景観、ワイン・日本酒、フルーツ、歴史・文化といった豊富な観光資源に恵まれており、県内を訪れる観光客は年々増加傾向にある。</p> <p>観光は、宿泊業のみならず、小売業や飲食業等さまざまな業種が関係し、幅広い分野・産業に大きな経済的インパクトを与えていることから、観光立県を掲げる山梨県においては、地域経済活性化のための有望な分野である。</p> <p>こうした幅広い業種が関係するツーリズム関連産業への支援を強化するため、平成27年8月に「ツーリズム支援デスク」を設置し、営業統括部公務・地方創生室内に専担者2名を配置した。</p> <p><b>【具体的な取組み内容】</b>  この「ツーリズム支援デスク」による支援の一環として、以下の取組みを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 旅行業界経験者を「観光アドバイザー」として招請し、取引先企業や地公体からの個別相談に応じ、課題解決に向けた助言・提言を実施。</li> <li>(2) 都内店舗における観光情報の発信のほか、SNSによるツーリズム関連情報の発信。</li> <li>(3) セミナーの開催や免税店登録のサポートなどの情報提供。</li> <li>(4) 山梨県、県内大学と連携した小売店、飲食店等への英会話サポートの実施。</li> <li>(5) 各市町村の観光施策や峡東ワインリゾート構想のような広域観光施策への金融機能を活用した支援。</li> </ul>

銀行名	山梨中央銀行
タイトル	地域の医療介護ニーズへの対応支援
取組み内容	<p><b>【取組み経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品卸業を営むA社は、自社グループ内に調剤薬局B社および社会福祉法人C会を有しており、グループの経営資源を活用した将来の事業展開を模索。</li> <li>・ A社では、既にC会での特別養護老人ホームの開設を計画していたものの、開設後も一次医療圏における介護サービスの供給が不足する状況を踏まえ、関連事業への進出の検討を開始したいとの相談を受けた。</li> <li>・ 当行では、地域医療構想や地域包括ケアシステム等の医療介護業界の動向に関する情報を提供し、事業モデルの検討に着手。</li> <li>・ マーケットの分析や関連法規の確認を踏まえ、グループ会社を含めた事業スキームの検討および収支計画をA社とともに策定。</li> <li>・ また、施設建設地選定のための不動産情報についても提供。</li> </ul> <p><b>【事業スキーム】</b></p> <p>事業用地 調剤薬局B社が賃借 診療所（内科）兼訪問看護介護ステーション B社が建設し、本事業のために招聘した医師へ賃貸。 （医師の個人事業として開始）</p> <p>調剤薬局 B社が建設し、グループ法人として新設したD社へ賃貸。 （医薬分業を考慮し、B社の事業としない）</p> <p><b>【取組みの効果・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域において、診療所（外来）から訪問看護・介護、特別養護老人ホームまでの一連の医療介護サービスの提供が可能となった。</li> <li>・ C会の特別養護老人ホーム建設にかかるつなぎ資金150百万円対応。</li> <li>・ B社による上記 建設資金250百万円対応。</li> </ul> <p><b>【今後の展望】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療所については、現状医師による個人事業の形態となっているが、将来的に医療法人化し、A社グループの中核的な位置付けとする予定。</li> <li>・ さらなる施設の多様化を図るため、サービス付高齢者向け住宅の開設についても、今後検討していく予定。</li> </ul>

銀行名	山梨中央銀行
タイトル	省エネルギー対策支援
取組み内容	<p><b>【取組み経緯・支援内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災以降、中小企業者のエネルギーコストが増大する中で、当行においては、省エネ対策の支援を積極的に実施している。</li> <li>・ 具体的には、「山梨中央銀行 省エネ対策プログラム」を策定し、公的支援策を活用した省エネ診断やアドバイスの実施、および省エネ設備の導入・更新に活用できる補助金・税制優遇措置等の活用など総合的な支援を行っている（別紙1参照）。</li> <li>・ 中小企業者向けの補助金等公的支援策が拡充していることを踏まえ、補助金活用の促進を目的として、関東経済産業局の担当者を講師として、県内および西東京地区で「平成28年度 経済産業省補助金説明会」を開催（全4回開催）。</li> <li>・ 補助金等の活用支援においては、当行の業務アドバイザーやメーカー等の外部専門機関と連携する中で、申請書の作成支援を実施している。</li> </ul> <p><b>【取組みの成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年4月以降、経済産業省が実施する省エネ関連補助金において、23先の申請支援を実施し、うち14先が採択されたことで省エネ設備の導入・更新につながっている。</li> <li>・ また、採択先のうち7先に対しては、補助金の利用とともに、当行で融資対応を行った。</li> <li>・ 今後も、省エネ関連補助金を切り口とした取引先の省エネ対策支援とそれに伴う融資創造に積極的に取り組んでいく。</li> </ul>

省エネ・節電に対するさまざまな疑問・ご要望にお応えいたします。

## 山梨中央銀行 省エネ対策プログラム

「省エネ・節電診断」や、省エネ対策に対応する補助金等の活用サポート、資金調達に関するご相談など、さまざまな情報をご用意し、中小企業のみなさまを応援いたします。

Step  
1

### 効率的・効果的な設備投資に向けての 省エネ診断・アドバイス

専門家が伺いし、診断・アドバイスいたします。

専門家と連携して、省エネ診断やアドバイスをを行います。  
公的支援策等の活用により、無料での省エネ診断やアドバイスが可能です。

#### ■省エネ診断

- ・専門家による事業所・工場の省エネ診断を行います。
- ・省エネ診断は電力だけでなく、燃料や熱など総合的に診断いたします。

#### ■アドバイス

- ・工場や事業所のエネルギー使用状況等に応じた省エネの改善策をご提案します。
- ・電気や燃料・熱など総合的なアドバイスを行います。



Step  
2

### 補助金等活用サポートサービス

お客様の設備投資ニーズに合わせてお役に立つ情報をお届けし、サポートいたします。

省エネ設備の導入・更新に活用できる補助金・税制優遇措置等公的支援策をご案内します。  
ご希望に応じて、補助金担当スタッフが補助金申請のサポートを行います。

#### ■補助金・税制優遇の一例紹介

- 補助金・税制優遇の一例です。  
期間限定の補助金等、タイムリーな情報を随時ご紹介いたします。
- ・補助金…エネルギー使用合理化事業者支援補助金
  - ・税制優遇…生産性向上設備投資促進税制



Step  
3

### 資金調達のご相談を承ります

設備投資にあわせて省エネ・節電の実現をバックアップいたします。

山梨中央銀行では、みなさまの省エネ対策を応援するため、省エネ対策に必要な資金調達について、各種ローンをご用意しております。  
お気軽に当行へご相談ください。

#### ■資金調達ご相談

- ・省エネ・節電の実現を資金面からバックアップいたします。



お問い合わせ先

山梨中央銀行

担当

TEL

## 省エネ対策に関するアンケート

今後の貴社への有益な情報提供、支援策のご提案等の資料とさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

1. 省エネ対策をお考えですか？

はい  いいえ

2. 省エネ設備への更新計画が具体的にありますか？

ある（または検討中）  ない

3. 上記2.にてある（または検討中）と回答いただいた方には、補助金・税制措置等公的支援策をご案内いたします。よろしければ、設備更新計画をお教えてください。

時 期： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月頃

設 備： \_\_\_\_\_

照明設備、空調設備、ボイラー設備、冷凍・冷蔵設備、生産設備（工作機械等）、輸送用機器等

投資規模： \_\_\_\_\_ 百万円

4. 公的支援策を活用した省エネ診断をご案内いたします。診断のご希望はありますか？

ある  ない

5. 補助金・税制措置等公的支援策や、省エネ対策に関する有益な情報をご提案いたします。ご連絡を希望する場合は、貴社ご担当者様をご記入ください。

連絡を希望する  連絡を希望しない

貴社名	
ご担当者様	
ご連絡先	
E-mail	

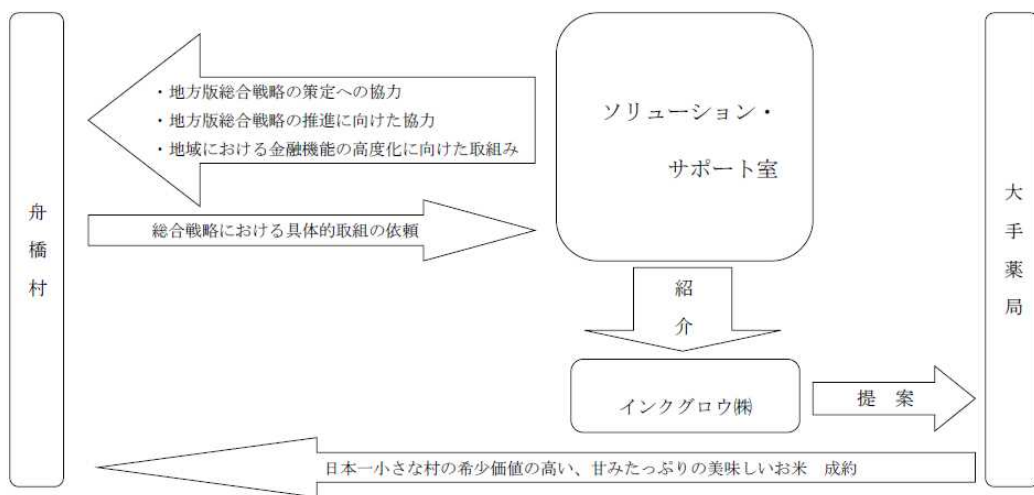
~~~~ ご協力ありがとうございました。~~~~

本アンケートは、お取引店にお渡しく下さい。

本情報は、当行およびグループ会社や提携会社の提供する金融商品やサービスに関するご提案に利用させていただきます。



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 北陸銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| タイトル  | 6次産業化ファンド出資事例 能登のワイナリーによるレストラン経営支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 取組み内容 | <p><b>【背景・経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ D社は自社生産ぶどうを用いたワイン醸造・販売を主たる事業としている先。今後の事業展開として、ワイナリーに併設したレストランの経営を検討していた。</li> <li>・ ワイン生産は在庫資金負担が大きく、さらに追加でレストランの建設を行うには、資金力が乏しい状況であった。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ D社は、長期の安定した資金調達を希望しており、当行組成の『ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンド』による出資の申込があった。</li> <li>・ ファンドによる出資検討の際には、料理専門家による当社のワインの品評や、招聘する料理人との面談も重ねて、事業コンセプトの擦り合わせを綿密に実施。</li> <li>・ また、事業対象エリアの商圈調査も含め、事業計画作成のサポートも行った。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出資決定後は、当行並びに、その他のファンド出資行の協力を得て、ワインの商談会や物産展への出展をサポートし、当社ワインの認知度向上、販路の拡大に協力。</li> <li>・ また、能登半島の景観の良い立地を生かして、旅行事業者との提携によるツアープランの作成も実施。</li> <li>・ 事業実施により、地元観光業界の活性化の一助となった。加えてレストランの従業員は地元から採用し、地域の雇用にも貢献することができた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以 上</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 富山銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| タイトル  | 地方創生に係る地域ブランド品のビジネスマッチング成約による新規融資の取扱                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 取組み内容 | <p>平成 26 年 12 月 27 日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で地域金融機関への役割発揮要請事項として、 地方版総合戦略の策定への協力、 国の総合戦略や地方版総合戦略の推進に向けた協力、 地域における金融機能の高度化に向けた取組み、 の 3 点が挙げられている。</p> <p>地方創生への貢献を目的として、 各行政区の「地方版総合戦略」に積極的に関わっている。</p> <p>富山県の中央部にある舟橋村の「舟橋村創生プロジェクト総合推進会議」に参加しており、 総合戦略の具体的な施策として「農事組合法人の収入拡大」を掲げている。この取組みへの協力として、 当行の連携先であるインクグロウ(株)との連携により、 地域ブランドの販路開拓につながるビジネスマッチング活動を行った。</p> <p>この活動の結果、 舟橋村産こしひかり（日本一小さな村の希少価値の高い、 甘みたっぷりの美味しいお米）が大手薬局（東証一部上場）の上層客向けポイント交換 D M 企画に掲載され、 5kg 入り 3,500 袋が成約となった。</p> <p>このコシヒカリを生産した農事組合法人の設備資金（育苗施設資金）として新規融資の取扱い。</p> <p>総合戦略に貢献したことにより、 総合戦略を進めていく上での主体的な立場を担っている。</p> <p>農事組合法人自身が自社のお米に自信を持ち、 自ら積極的に販路開拓を行うようになった。</p>  |

|     |      |
|-----|------|
| 銀行名 | 福井銀行 |
|-----|------|

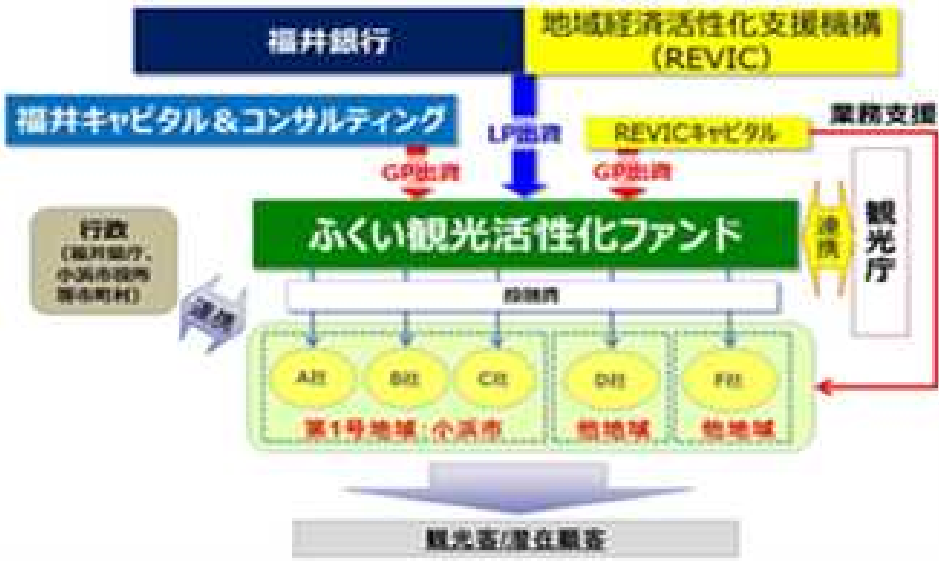
|      |                                                |
|------|------------------------------------------------|
| タイトル | 「ふくい観光活性化ファンド」設立による地域活性化支援の取組み<br>(H27.8.5 設立) |
|------|------------------------------------------------|

当行は、株式会社地域経済活性化支援機構と、「ふくい観光活性化投資事業有限責任組合（ふくい観光活性化ファンド）」を設立しました。

<ファンド概要>

|           |                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|
| 名称        | ふくい観光活性化投資事業有限責任組合                                                |
| 設立時ファンド金額 | 300百万円                                                            |
| 設立日       | 平成27年8月5日                                                         |
| 設立時組合員構成  | (株)福井銀行<br>(株)地域経済活性化支援機構<br>(株)福井キャピタル&コンサルティング<br>REVICキャピタル(株) |
| 存続期間      | 約7年間                                                              |
| 業務運営者     | REVICキャピタル(株)、(株)福井キャピタル&コンサルティング                                 |

<ファンドスキーム図>



取組み内容

「ふくい観光活性化ファンド」第1号案件として、「株式会社まちづくり小浜」への投融資を実行しました。

・(株)まちづくり小浜は、観光を軸とした小浜市全域の活性化を実現するため、市が過半数を出資する観光まちづくり会社として2010年4月に設立されました。以来、道の駅の運営や観光イベントの企画・運営・PR事業等、同市の観光活性化の中心的役割を担っております。

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 十六銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| タイトル  | 長良川DMOとの連携による観光産業への支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 取組み内容 | <p>○十六銀行は、観光産業活性化に向け連携してきたNPO法人ORGANが、東海圏初の地域連携DMO（長良川DMO）に登録されたことを契機として、平成28年5月30日に「観光地域づくりに関する協定」を締結した。</p> <p>○これまでにNPO法人ORGANが主体的に実施するイベント「長良川温泉泊覧会」の運営（平成24～）や、経済産業省事業地域資源活用ネットワーク形成支援事業参画（平成27）、クラウドファンディングを活用した新規事業の資金獲得への協力（平成28）等、多岐に渡る支援を行った。</p> <p>○今後、本協定に基づき、平成28年4月に地方創生推進委員会内に新設した「観光産業部会」を積極的に活用し、観光PRを初め、効果的な資金調達手段の提供や創業者の支援を行うことで、観光産業の活性化に貢献していく。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 静岡銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| タイトル  | 事業性評価を活用した地域活性化への取組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 取組み内容 | <p><b>【経緯】</b><br/> A社は静岡県東部にてサービス業を広く展開し、業況は安定推移していた。A社代表は地域活性化の観点から、集客力のある観光施設の建設を模索するなか、富士山を望む三島市の立地を活かし、「日本一」の冠を付けた吊り橋の建設を検討していた。</p> <p><b>【支援内容】</b><br/> 平成21年1月、当行はA社代表の地域活性化にかける強い意志を受け、吊り橋建設の事業性について検討を開始。</p> <p>当行は、当時日本一であった吊り橋の視察等の結果、「富士山」という強力な観光資源のある三島市であれば、観光客の増加を通じて地域貢献に資するだけでなく、事業として成立すると確信。コンサルティング会社とともに事業性を評価し、事業計画策定を支援。</p> <p>また、三島市内に店舗を有する金融機関を中心としたシンジケート団を組成し、A社の建設資金調達をサポート。工事は地元企業により施工され、平成27年12月施設オープンに至った。</p> |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名    | 静岡銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| タイトル   | 地域インバウンド対応支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 取り組み内容 | <p>静岡県において、中国人を中心とする訪日外国人観光客（インバウンド客）が急増するなか、受入体制の整備が喫緊の課題となっており、当行では、地域のインバウンド対応支援を積極的に推進。具体的には下記の取組みを実施した。</p> <p>（１）「指すだけ会話ナビ」の制作・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行オリジナルの支援ツールとして、外国語を話せなくても外国人観光客との簡単なコミュニケーションができる指さし会話シートを作成。韓国語、中国語、英語の３カ国語に対応（中国語については簡体字と繁体字[台湾、香港]の２種類に対応）しており、 宿泊施設編、 飲食店編、 タクシー編、 販売店編の４種類を制作。</li> <li>・観光関連事業を営む取引先へ配布したほか、地方創生に関する連携協定を締結している市町や、富士山静岡空港、I Love しずおか協議会などとの連名版を制作のうえ連名とした各団体へ贈呈し、地方公共団体等のインバウンド対策にも寄与。</li> </ul> <p>（２）中国出身行員によるインバウンドセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国出身行員（静岡県内にキャンパスのある大学に通う外国人留学生を対象とした採用制度の第一期生）を講師とし、おもてなし中国語講座や、中国人旅行者対応に関するアドバイスを実施。</li> <li>・平成 27 年度は静岡県内の主要観光地で 9 回開催。開催に当たっては、地方公共団体、観光協会、商工会議所、商店街連盟、美しい伊豆創造センター等と連携。</li> </ul> <p>（３）銀聯カード対応端末導入や免税対応の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松肴町発展会、I Love しずおか協議会、美しい伊豆創造センター等と連携し、銀聯カードや免税対応の必要性を啓発するセミナー等を企画・開催している。</li> <li>・当行グループ内のクレジットカード会社と連携し、富士山静岡空港内の免税店に設置されている銀聯カードに対応したクレジットカード端末について、入替および高機能化の支援を実施。</li> </ul> |



### 病気・ケガの対応

(けが/病人)がいます。

韓 (다친 / 병에 걸린 사람)이 있습니다.

簡 有人受伤(生病)了。

繁 有人受傷(生病)了。

英 Someone is hurt/sick.

医者を呼んでください。

韓 의사를 불러주세요.

簡 请叫医生来。

繁 請叫醫生來。

英 Call a doctor, please.



- 韓 韓国語
- 簡 中国語(簡体字)
- 繁 中国語(繁体字)  
(台湾・香港)
- 英 英語

何科の病院に行きたいですか?

韓 무슨 과 병원에 가고 싶으십니까?

繁 您想到哪科的醫院去看病?

簡 您想到哪科的医院去看病?

英 What kind of doctor would you like to see?



| 内科        | 外科      | 歯科      | 小児科          | 眼科                                                                                                 | 産婦人科                          | 整形外科        | 総合病院             |
|-----------|---------|---------|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------|------------------|
| 내과        | 외과      | 치과      | 소아과          | 안과                                                                                                 | 산부인과                          | 정형외과        | 종합병원             |
| 内科        | 外科      | 牙科      | 小儿科          | 眼科                                                                                                 | 妇产科                           | 骨科          | 综合医院             |
| 内科        | 外科      | 牙科      | 小兒科          | 眼科                                                                                                 | 婦産科                           | 骨科          | 綜合醫院             |
| Internist | Surgeon | Dentist | Pediatrician | Ophthalmologist<br><small>(an eye doctor qualified to perform surgery and prescribe drugs)</small> | Obstetrician and Gynecologist | Orthopedics | General Hospital |

病名は何ですか?

韓 병명이 무엇입니까?

簡 您得的是什么病?

繁 您得的是什麼病?

英 What's the name of your disease?

| 発熱    | 風邪   | 下痢       | 吐き気    | 消化不良        | 糖尿病      | 心臓病           | 肝臓病           |
|-------|------|----------|--------|-------------|----------|---------------|---------------|
| 발열    | 감기   | 설사       | 구역질    | 소화불량        | 당뇨병      | 심장병           | 간장병           |
| 发烧    | 感冒   | 腹瀉       | 恶心     | 消化不良        | 糖尿病      | 心脏病           | 肝脏病           |
| 發燒    | 感冒   | 腹瀉       | 惡心     | 消化不良        | 糖尿病      | 心臓病           | 肝臟病           |
| Fever | Cold | Diarrhea | Nausea | Indigestion | Diabetes | Heart disease | Liver disease |

| アレルギー   | 神経痛       | 胸やけ           | 打撲     | めまい       | ぜんそく   | じんましん             |
|---------|-----------|---------------|--------|-----------|--------|-------------------|
| 알레르기    | 신경통       | 명치 부분이 쓰리고 아픔 | 타박상    | 현기증       | 천식     | 두드러기              |
| 过敏      | 神经痛       | 烧心            | 碰伤     | 头晕        | 哮喘     | 荨麻疹               |
| 過敏      | 神經痛       | 燒心            | 碰傷     | 頭暈        | 氣喘     | 蕁麻疹               |
| Allergy | Neuralgia | Heartburn     | Bruise | Dizziness | Asthma | Urticaria (hives) |

| やけど  | けが     | ねんざ    | くつずれ                          | ぎっくり腰                          | 現在妊娠中です       |
|------|--------|--------|-------------------------------|--------------------------------|---------------|
| 화상   | 부상     | 염좌     | 구두가 닿는 살갓이 벗겨지는 일 또는 그로 인한 상처 | 갑자기 허리가 삐끗하여 아프고 움직일 수 없게 되는 병 | 현재 임신 중입니다.   |
| 烧伤   | 受伤     | 扭伤     | 鞋磨伤                           | 腰扭伤                            | 怀孕            |
| 燒傷   | 受傷     | 扭傷     | 鞋磨傷                           | 腰扭傷                            | 懷孕            |
| Burn | Injury | Sprain | Blister                       | Strained back                  | I'm pregnant. |



おもてなしのお手伝い  
宿泊施設編

指すだけ  
会話ナビ

外国語に不自由なため  
このシートを利用してお話をさせていただきます。

韓 외국말을 잘 모르기 때문에 이 카드를 사용하여 말씀 드리겠습니다.

簡 由于外语不通, 请让我用这张纸跟您说话。

繁 由于外語不通, 請讓我用這張紙跟您說話。

英 I don't speak foreign languages well, so I'd like to use these cards to serve you.

韓 韓国語 簡 中国語(簡体字) 繁 中国語(繁体字)  
(台湾・香港) 英 英語

네 是。 YES    はい    いいえ    아니요 不是。 NO

午前 午前 上午 A.M.    午後 午後 下午 P.M.

時 分    時 分    分 分    分 分

いつ    だれが    なぜ    何時    誰    為什麼

どこで    なにが    いくつ    哪裡    什麼    多少

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

部屋番号    階    泊    人    時間    分    円

방 번호    층    박    명    시간    분    엔

房间号码    楼    天    人    小时    分钟    日元

房間號碼    樓    宿(晚)    人    小時    分鐘    日元

Room number    Floor    Night    Person    Hour    Minute    Yen





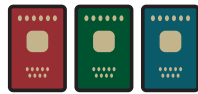
## チェックイン

チェックインをお願いします。

- 韓 체크인을 부탁드립니다.
- 簡 我要办理住宿手续。
- 繁 我要辦理住宿手續。
- 英 Check in, please.

パスポートをご呈示ください。

- 韓 여권을 보여주세요.
- 簡 请出示护照。
- 繁 請出示護照。
- 英 Please show your passport.



お部屋は(禁煙/喫煙)どちらがよろしいですか?

- 韓 방은 (금연 방 / 흡연 방) 어느 쪽을 원하십니까?
- 簡 您需要什么样的房间(禁烟/吸烟)?
- 繁 您需要什麼樣的房間(禁煙/吸煙)?
- 英 Which room would you prefer, (non-smoking / smoking)?



お支払いは何でされる予定ですか?

- 韓 지불은 어떤 방법으로 하실 예정이십니까?
- 簡 您打算用什么方式付款?
- 繁 您打算用什麼方式付款?
- 英 How would you like to pay?



(現金(日本円)/トラベラーズチェック/クレジットカード)

- 韓 (현금<일본 엔> / 여행자 수표 / 신용카드)
- 簡 (現金<日元>/旅行支票/信用卡)
- 繁 (現金<日圓>/旅行支票/信用卡)
- 英 (Cash<¥> / Traveller's check / Credit card)



カード利用の方は恐れ入りますが、カードを確認させてください

- 韓 카드를 이용하실 분은 죄송합니다만, 카드를 확인하겠습니다.
- 簡 麻烦您, 能让我确认一下您的信用卡吗?
- 繁 麻煩您, 能讓我確認一下您的信用卡嗎?
- 英 May we check your credit card to confirm if it's acceptable?



ここには門限があります。〇時までにお戻りください

- 韓 이 곳에는 통금(폐문) 시간이 있습니다. 〇시까지 들어와 주십시오.
- 簡 这里的关门时间是〇点, 请在此之前返回。
- 繁 這裏的關門時間是〇點, 請在此之前返回。
- 英 We close the front doors at 〇(A.M. / P.M.), so please return before then.



私の名前は 〇〇 です。

- 韓 제 이름은 〇〇 입니다.
- 簡 我叫 〇〇。
- 繁 我的名字是 〇〇。
- 英 My name is 〇〇.

これらの用紙にご記入ください(お名前、パスポートナンバーなど)

- 韓 이 용지에 기입해 주십시오 (성명, 여권번호 등)
- 簡 请在这表上登记(姓名、护照号码等)。
- 繁 請在這表上登記(姓名、護照號碼等)。
- 英 Please fill in these forms.



チェックアウトタイムは 〇時です

- 韓 체크아웃 시간은 〇 시입니다.
- 簡 退房时间是 〇 点。
- 繁 退房時間是 〇 點。
- 英 The checkout time is 〇(A.M. / P.M.).



非常口の確認をしておいていただけますか?

- 韓 비상구를 확인해 두시기 바랍니다.
- 簡 请确认紧急出口的位置。
- 繁 請確認緊急出口的位置。
- 英 Could you check the location of emergency exits in advance?



お部屋の準備ができるのは 〇時からです

- 韓 방 준비가 되는 것은 〇 시입니다.
- 簡 房间在 〇 点后能准备好。
- 繁 房間在 〇 點後能準備好。
- 英 Your room will be ready at 〇(A.M. / P.M.).

申し訳ありませんが、このカードはご利用いただけません

- 韓 죄송합니다만, 이 카드는 이용하실 수 없습니다.
- 簡 对不起, 这卡不能使用。
- 繁 對不起, 這卡不能使用。
- 英 I'm afraid we don't accept this card.



## 滞在中

鍵を部屋に置いたまま、部屋のドアを閉めてしまいました。

- 韓 열쇠를 방에 두고 방 문을 닫아버렸습니다.
- 簡 我把钥匙锁在房间里了。
- 繁 我把鑰匙鎖在房間裡了。
- 英 I locked my key in my room.

鍵がかかりません。

- 韓 문이 잠기지 않습니다.
- 簡 门锁不上。
- 繁 門鎖不上。
- 英 I can't lock my room.

ルームナンバーを教えてください

- 韓 방 번호를 가르쳐 주십시오.
- 簡 请告诉我您的房间号码。
- 繁 請告訴我您的房間號碼。
- 英 Please tell me your room number.



お客様宛ての(荷物/FAX/メッセージ)を預かっています

- 韓 손님 앞으로의 (짐 / FAX / 메시지)를 맡고 있습니다.
- 簡 我们保管着您的(行李/FAX/留言)。
- 繁 我們保管著您的(行李/FAX/留言)。
- 英 We have a (package / FAX / message) for you.



|                                                                           |                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| ばんそうこう<br>韓 일회용 밴드<br>簡 创可贴<br>繁 創可貼<br>英 Band aid                        | 爪きり<br>韓 손톱깎이<br>簡 指甲刀<br>繁 指甲刀<br>英 Nail clippers |
| ガーゼ<br>韓 가제<br>簡 纱布<br>繁 紗布<br>英 Gauze                                    | 枕<br>韓 베개<br>簡 枕头<br>繁 枕頭<br>英 Pillow              |
| ドライヤー<br>韓 헤어드라이어<br>簡 吹风机<br>繁 吹風機<br>英 Hair dryer                       | 消毒液<br>韓 소독액<br>簡 消毒药<br>繁 消毒藥<br>英 Disinfectant   |
| 包帯<br>韓 붕대<br>簡 绷带<br>繁 綁帶<br>英 Bandage                                   | 体温計<br>韓 체온계<br>簡 体温表<br>繁 體溫表<br>英 Thermometer    |
| 毛布<br>韓 담요<br>簡 毛毯<br>繁 毛毯<br>英 Blanket                                   | アイロン<br>韓 다리미<br>簡 熨斗<br>繁 熨斗<br>英 Iron            |
| ラインチェンジャー<br>韓 인터넷 접속 어댑터<br>簡 上网用适配器<br>繁 上網用適配器<br>英 Internet connector |                                                    |

韓 韓国語 簡 中国語(簡体字) 繁 中国語(繁体字)〈台湾・香港〉 英 英語



## チェックアウト

会計をお願いします。

- 韓 계산을 부탁드립니다.
- 簡 请结账。
- 繁 請結賬。
- 英 Checking out, please.



ミニバーまたは有料テレビのご利用はありましたか?

- 韓 미니바(유료 음료수) 또는 유료 텔레비전을 이용하셨습니까?
- 簡 您用过小酒吧或者收费电视吗?
- 繁 您用過小酒吧或者收費電視嗎?
- 英 Did you use room-bar or pay TV?



お支払い方法は何かですか?

- 韓 지불은 어떤 방법으로 하시겠습니까?
- 簡 您用什么方式付款?
- 繁 您用什麼方式付款?
- 英 How would you like to pay?

鍵をお返しいただけますか?

- 韓 열쇠를 되돌려 주시겠습니까?
- 簡 请把钥匙还给前台。
- 繁 請把鑰匙還給前台。
- 英 May I have your room key please?



請求書の内容を確認してください

- 韓 청구서 내용을 확인해 주십시오.
- 簡 请把付款单的内容确认一下。
- 繁 請把付款單的內容確認一下。
- 英 Would you check the bill to make sure it's correct?



カード利用の方はこちらにサインをお願いします

- 韓 카드로 지불하실 분은 여기에 서명해 주시기 바랍니다.
- 簡 用信用卡付款的话, 请在这里签名。
- 繁 用信用卡付款的話, 請在這裏簽名。
- 英 If you are paying by credit card, please sign here.





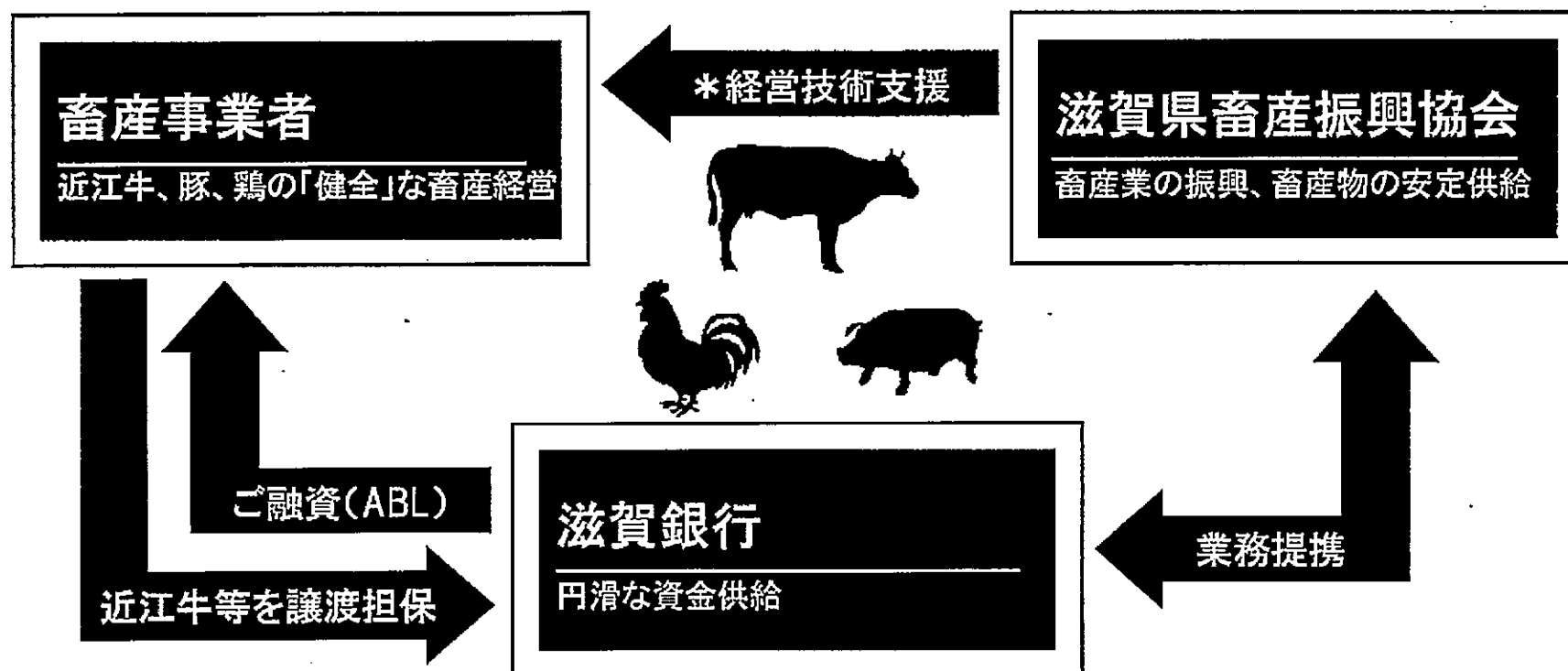
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 静岡銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| タイトル  | 地方創生ローンによる地域開発資金の支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 取組み内容 | <p><b>【支援内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業A社は地域の中核企業。使用しなくなった自社工場を解体し、跡地活用を検討するに当たり、地元NPO法人と共同し、オフィスと賃貸住宅が一体化した街区を作り、「しごと」と「ひと」が集まる拠点づくりを検討していた。</li> <li>・職住隣接の環境を作り上げることで、当地区への移住促進および新たなビジネス創出機会の創造を目的とした。</li> <li>・当行は本件事業費に対し、当社の地方創生に対する強い思いや本件ビジネスモデルの将来的な成長性を評価し、当行の地方創生専用商品である「しずおか創生・地域企業応援ローン」により、資金調達を支援した。</li> </ul> <p>しずおか創生・地域企業応援ローン<br/>地方創生につながる地域資源の活用や、雇用拡大に向けた取り組みを金融面からサポートすることを目的に、平成27年9月に取扱いを開始した融資制度。<br/>(平成28年5月末までの融資実行実績：33件/11,309百万円)</p> <p><b>【新事業の現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は地域への移住・定住および雇用創出につながる「地方創生」に資する案件として支援。地元民間企業および当行の動きに呼応し、地元自治体も「事務所等賃貸費用の補助」や「マッチング情報の提供」、「セミナー開催」などを通じて支援を予定している。</li> <li>・現在、プロカメラマン、WEBデザイナー、スポーツイベントプロデューサーなど、様々な事業者が入居開始。A社代表の考えとして、本事業は入居者それぞれの専門性を結集し、総合商社のような広がりのある機能を持たせるため、「入居者は1業種1社」と決めており、多彩な職種のプロフェッショナルが集まるコミュニティが創造されつつある。</li> </ul> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 静岡銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| タイトル  | M & Aによる後継者問題の解決および地域医療体制の維持                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 取組み内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法人Aは、創業40年超、数百名のスタッフを抱える規模を誇り、地域の住民からも厚い信頼を集めていた。立地する地域には医療施設が乏しく、医療法人Aは、地域医療を支える重要な存在となっていた。</li> <li>・近年では、建物の老朽化も進みつつあったが、高齢となった理事長は後継者問題を抱えており、建替え等の大型投資は決断が難しい状況であった。</li> <li>・また、医療法人Aでは医師全体の高齢化が進むも、立地が地方であることから若手医師の採用も課題として抱えていた。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・一方、都市部に立地する医療法人Bは、進んだ医療経営等を導入しており、若い医師も多く抱えていたが、激しい競合の中、今後の業容拡大に関し打開策を検討していた。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・両法人と取引関係にある当行は、子会社であるコンサルティング会社等と連携し双方のニーズや課題を分析、M &amp; Aによる相乗効果を検証。</li> <li>・理事長同士の面談を重ね、経営理念や諸条件等、摺合せを進めていった。</li> <li>・また、M &amp; Aに伴う医療法人特有の課題を県と事前調整を図るなど、多面的な支援により成約に至った。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・検討の結果、医療法人Bが、医療法人Aの理事長個人から出資持分の譲受を受け、医療法人Aを子会社化するスキームを採用。</li> <li>・これにより、医療法人Aは後継者問題等の解決が図られ、医療法人Bは競合の少ない地域への進出が叶い、今後の業容拡大が期待される。</li> <li>・当面、医療法人Aの理事長は留任するが、新たな経営管理システムの導入、人員、将来的な建替え等に向けた検討を開始している。</li> <li>・当行は、本M &amp; Aに伴い、医療法人Bに対し、出資持分の買取り資金を融資した。</li> </ul> <p>&lt;スキーム&gt;</p> <pre> graph LR     subgraph "【譲渡前】"         A1[理事長等個人] -- "[100%]" --&gt; A2[医療法人A]     end     subgraph "【譲渡後】"         B1[医療法人B] -- "[100%]" --&gt; A3[医療法人A]     end     A1 -- "[出資持分譲渡]" --&gt; B1     Bank[当行] -- "[譲受資金]" --&gt; B1   </pre> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 滋賀銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| タイトル  | 地域における成長産業への支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 取組み内容 | <p>・畜産業者、一般社団法人滋賀県畜産振興協会、当行が三社契約を締結し、ABL( )<br/>を活用した第一号融資(近江牛担保、当座貸越 120 百万円)を、平成 27 年 11 月<br/>30 日に実行しました。<br/><br/>( ABL : 次頁を参照下さい。)</p> <p>・三社契約締結のメリットは次の通りです。</p> <p>&lt; 畜産業者 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人滋賀県畜産振興協会より経営技術支援を受けることで、疾病等生<br/>体特有のリスク軽減。</li> <li>・仕入等運転資金のタイムリーな調達により、<br/>素牛価格(仕入価格)や飼料価格の高騰等による、資金繰りの負担軽減。<br/>在庫量と今後の飼育頭数計画に応じた極度枠設定による資金調達健全化。</li> <li>・ABL の活用により、保証人(実母)を解除。</li> </ul> <p>&lt; 当行 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人滋賀県畜産振興協会から近江牛の管理ノウハウの提供や担保処分<br/>に係る専門業者の紹介等、業務支援を受けることが可能となった。</li> <li>・ABL の取り扱いにより、次の が一層可能となった。<br/>地域ブランドの育成、地方創生への寄与。<br/>顧客と商流やビジネスモデルを共有し、密接な関係構築。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p> |

## ABLを活用した近江牛等のローカルブランディング

- 滋賀県畜産振興協会と当行が業務提携し、近江牛等を担保とするABLの取り扱いを開始
- 健全な畜産経営の発展、安全な畜産物の供給を通じてローカルブランディングを支援



\*経営技術支援…衛生管理や畜産技術等の畜産経営に関するアドバイス

地域ブランドの維持・向上と健全な畜産経営の発展を支援する地方創生の取り組み

# ニュースリリース

このページを印刷する

2015.11.19

## 近江牛等を担保とする「ABL」を取扱開始

～ABL(Asset Based Lending)で「地方創生」に貢献～

当行は、滋賀県のご協力のもと、一般社団法人 滋賀県畜産振興協会（以下、協会）と業務提携し、近江牛等（※1）を担保とする「ABL」（※2）の取り扱いを開始します。地域の畜産振興協会と連携したABLは、全国でも初めての取り組みとなります。

協会と当行の連携によるABLの取り組みにより、不動産や保証によらない柔軟な資金対応と畜産事業者さまの「健全な畜産経営」をサポートし、「近江牛」などの地域ブランドの維持向上によるアグリ産業の発展と地方創生に貢献してまいります。

今後とも当行は、地方公共団体や各種団体との連携をはかることで、「地域社会との共存共栄」と「地方創生」に全力で取り組んでまいります。

（※1）近江牛等には黒毛和種のほか肉用種、乳用種等の牛、豚、鶏を含みます。

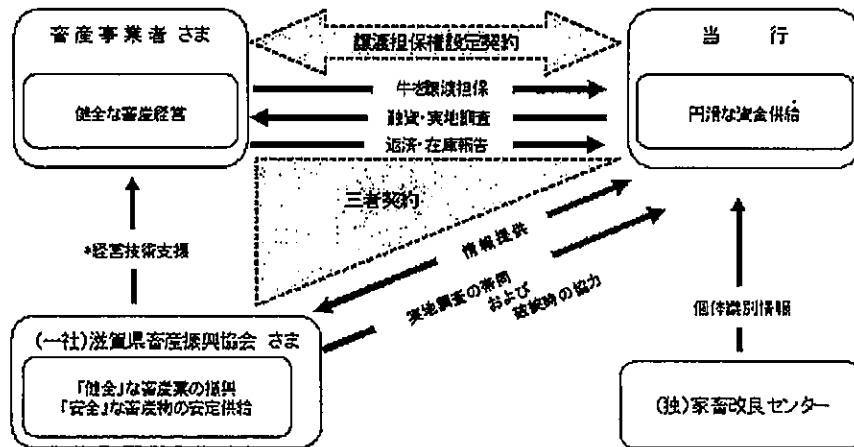
### 記

#### ■ 取り組みの概要

担保取得した近江牛等の肥育状況を協会と確認し、必要に応じて、協会が畜産事業者さまへ衛生管理や畜産技術等のアドバイスを実施します。また万一、畜産事業者さまが破綻等、事業の継続が困難となった場合には、協会は銀行に対し肥育管理や担保処分にかかる専門業者の紹介などの協力をを行います。

これにより担保取得した近江牛等の疾病リスクや処分リスク等の生体特有のリスクを軽減することができ、これまでの融資制度では、担保とすることが困難であった近江牛等の生体を担保として活用することが可能となりました。また、個体識別情報を活用した適切な在庫管理や協会から市場動向などの情報提供により県内畜産業の動向を把握することで、不動産や保証によらない柔軟な資金対応を行ってまいります。

#### <スキーム図>



\*経営技術支援 …… 衛生管理や畜産技術等の畜産経営に関するアドバイス

#### （※2）ABL(Asset Based Lending : アセット・ベースト・レンディング)とは

企業の事業そのものに着目し、在庫や機械設備、売掛金など事業収益資産を担保として活用する融資手法です。これまで担保として提供できなかった資産を担保として活用できるため、不動産や保証人によらない資金調達の可能性が広がると共に、銀行と商流やビジネスモデルを共有することで、より密接な関係を構築する事が可能となります。

当行は、これまで寝装寝具、文具・玩具、マシニングセンタ、医療機器、太陽光設備、売掛債権などを担保とした取り扱いを行っております。

以上

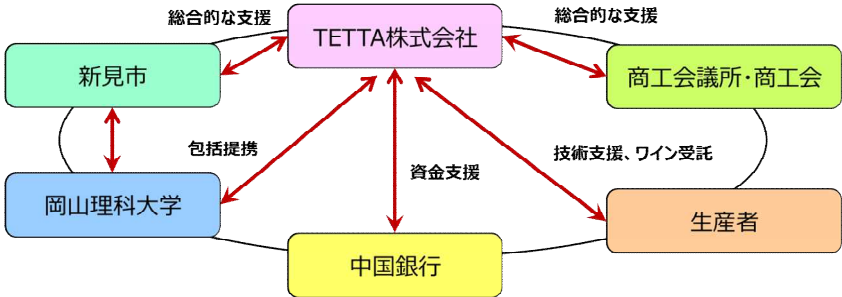

本件のお問い合わせは

滋賀銀行 審査部 企画グループ 総合企画部 広報室  
 (077-521-2240) 八里・中江 (077-521-2202) 備前、北村

※平日9:00～17:00 (祝日・銀行休業日を除く)

| 銀行名              | 京都銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |  |     |      |     |                  |         |      |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--|-----|------|-----|------------------|---------|------|
| タイトル             | 企業の農業分野への進出に関するセミナーの開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |      |     |                  |         |      |
| 取組み内容            | <p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生において、農林水産業の成長産業化は重要な課題として掲げられている。また、平成28年4月の改正農地法施行により企業が農業に参入しやすくなり、今後新たに農業分野へ進出する企業の増加が予想される。</li> <li>・については、取引先の農業への参入をサポートするため、セミナーを開催することとなった。</li> </ul> <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～地方創生の実現に向けて～企業による農業への参入セミナー」の開催<br/>京都府の農業の実態と農地中間管理機構の活用、企業による農業への参入事例等の情報提供を行った。</li> </ul> <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の農業参入の機運を高めることができた。また、取引先企業の潜在的なニーズの掘り起しにも繋がった。</li> </ul> <p>&lt; 開催実績 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="443 1160 1406 1249"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 1160 815 1205">開催日</th> <th data-bbox="815 1160 1158 1205">開催場所</th> <th data-bbox="1158 1160 1406 1205">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1205 815 1249">平成 28 年 3 月 10 日</td> <td data-bbox="815 1205 1158 1249">京都銀行 本店</td> <td data-bbox="1158 1205 1406 1249">32 名</td> </tr> </tbody> </table> |      |  | 開催日 | 開催場所 | 参加者 | 平成 28 年 3 月 10 日 | 京都銀行 本店 | 32 名 |
| 開催日              | 開催場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 参加者  |  |     |      |     |                  |         |      |
| 平成 28 年 3 月 10 日 | 京都銀行 本店                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 32 名 |  |     |      |     |                  |         |      |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 但馬銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| タイトル  | 観光DMOへの参画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 取組み内容 | <p><b>【動機（背景）】</b><br/> 当行の営業エリアである但馬地域においては、近年、増加傾向にある外国人観光客の増加を踏まえ、観光分野におけるインバウンド需要の取込みによる地域経済の活性化に取り組む必要があった。</p> <p>当行営業エリアの自治体より、地域の観光関連事業者や地域金融機関を中心とした観光地域づくりの推進組織（観光DMO）の設立について打診があった。</p> <p><b>【取組み内容、成果】</b><br/> 平成28年6月に観光DMOの推進組織として、一般社団法人を設立した。</p> <p>設立に際し、自治体、弊行を含めた地域の観光関連事業者および地域金融機関がそれぞれ出資を行った。</p> <p>また、弊行より観光DMOへ職員1名を派遣している。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 中国銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| タイトル  | 地域資源を活用した産学官金連携事例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 取組み内容 | <p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の事業地である岡山県新見市は日本国内では稀なフランスの銘醸地と同じ石灰岩土質で水はけがよく、ワイン生産に適したぶどうの産地の条件を満たしていた。</li> <li>・当社は、平成21年から地域のぶどう園を引き継ぎ、ぶどう生産を開始。</li> <li>・当社は、新見市のぶどうを使用したワインのブランド化を目指し、新見市に働きかけを行ってきた。平成27年6月には新見市がワイン特区を取得。平成28年3月には新見ワイン生産組合を設立し、当社代取が組合長に就任。将来的には、域外からの誘客力のあるワインリゾートを形成し、地域の活性化を図る。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社は、H22年から委託醸造にてワインを製造販売していたが、ワインの販路が確立できてきたことから、自社ワイナリーの建設を計画。有名デザイナーの片山正通氏がデザインを担当し、ワインリゾートの核となるシンボリックなワイナリーの整備に取組む。</li> <li>・岡山理科大学とも連携し、優秀な人材を受入れ、最終的には地域内への就農、定住につなげ、地域農業の活性化を図る。</li> </ul> <p><b>【効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社と、商工会、当行が連携し、当社の事業性(強み、将来性)を分析し、事業計画の作成を支援。</li> <li>・また、ワイン生産を志す生産者を域外から持続的に誘致するため、新見市や岡山理科大学と連携体制を構築。</li> <li>・本件、ワイナリー建設にあたっては、上記の連携体制構築の取組みと、地域の雇用創出に対する当社取組みが評価され、平成27年度、総務省の「地域経済循環創造事業交付金」に採択された。</li> </ul> <p><b>【スキーム】</b></p> <p>地方自治体、地元大学との連携により、お取引先企業の研究開発や技術相談等に対応してまいります。</p> <p>➤ 岡山県新見市 ワイナリー建設の事例</p>  <p><b>【地域経済循環創造事業交付金を活用】</b></p> <p>産学官金がそれぞれの強みを活かして連携し、地域の特産品であるブドウの生産から、ワインの醸造及び販売、観光の拠点作りを担うワイナリーを建設しました。当行は必要資金をご融資させて頂きました。</p>  |



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 阿波銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| タイトル  | 「瀬戸内ブランドコーポレーション」「せとうち観光活性化ファンド」を設立                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 取組み内容 | <p>一般社団法人せとうち観光推進機構と連携して、瀬戸内ブランド推進体制を構築するため、「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」に対して2,500万円の出資を行いました。</p> <p>また、同社の取組みに関連し、「せとうち観光活性化ファンド」を組成しました。</p> <p>「地方創生」において、地域金融機関の果たす役割が重要となる中で、瀬戸内7行および日本政策投資銀行は、瀬戸内地域が国内外の多くの人から選ばれる地域となるために、観光関連事業者に対して必要な資金提供を行うことで、瀬戸内地域の価値の最大化をめざしてまいります。</p> <p><b>【せとうち観光活性化ファンド概要】</b></p> <p>商号：せとうち観光活性化投資事業有限責任組合<br/> 組成日：平成28年4月1日<br/> ファンド総額：90億円（組成日時点）<br/> 無限責任組合員（GP）：株式会社せとうち観光パートナーズ<br/> 有限責任組合員（LP）：阿波銀行、中国銀行、広島銀行、山口銀行、百十四銀行、伊予銀行、みなと銀行、日本政策投資銀行（DBJ）、海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）</p> <p>&lt;せとうち観光活性化ファンド体制図&gt;</p> <p>The diagram illustrates the capital flow and management structure. At the top, a group of banks and organizations (including Awa Bank, Iyo Bank, China Bank, 14 Bank, Hiroshima Bank, Yamaguchi Bank, and Japan Policy Investment Bank) provide capital to 'Setouchu Tourism Partners' (GP) and 'Setouchu Brand Corporation' (LP). 'Setouchu Tourism Partners' (GP) is responsible for the fund's operation and management, while 'Setouchu Brand Corporation' (LP) is involved in fund operation-related cooperation. Both provide capital to the 'Setouchu Tourism Revitalization Fund' (Setouchu Tourism Revitalization Investment Business Limited Liability Partnership). The fund then invests in various tourism-related businesses in the Setouchu region.</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 百十四銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| タイトル  | 農林漁業成長産業化ファンドを活用した6次産業化支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 取組み内容 | <p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業多角化の一環としてアグリビジネスでの新規事業を模索していた重電機器製造業者S社は、同地域でオリーブ果実を生産する農業法人T社と連携して、オリーブビジネス事業化の可能性調査を開始。</li> <li>・調査開始後、S社がT社より買取したオリーブ果実を加工業者へ持ち込み、オリーブ製品への加工を委託すると同時に、現場研修を受けて加工技術を習得。</li> <li>・オリーブ果実の自社生産量の増加に伴い、加工委託先の製造処理能力を超える懸念が出てきたことから、安定製造とクオリティ維持を図るため、自社加工場の建設ニーズが発生。</li> <li>・当行ネットワークにより、上記動向に関する情報をキャッチし、同地域内にある2社によるオリーブの6次産業化事業を立ち上げるため、6次産業化ファンド「百十四6次化サポートファンド」活用を提案。</li> </ul> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記経緯から、オリーブ製品の製造内製化を進めるため、両社の共同出資によりオリーブ果実を加工販売する6次産業化事業体A社の設立を決定。</li> <li>・本件事業開始にあたり、当行が全面的にサポートして、事業収支シミュレーション、6次産業化認定に関する事業計画等を作成。併せて、関係機関ヒアリング等を実施し、業界動向調査やリスク分析を行い、本件事業の実現可能性等についてアドバイスを実施。</li> <li>・結果、6次産業化の認定取得により、同ファンドからの出資が決定。出資後は、定期的なモニタリングによる情報交換や新たな販路紹介など、事業基盤の早期確立に向けてアドバイスを実施。</li> </ul> <p><b>【効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化支援を通じて、県内農業の活性化を図るとともに、県産オリーブの付加価値を向上させ、香川県が推進するオリーブ産業振興に寄与。</li> <li>・オリーブ生産拡大により、生産者の高齢化や後継者不在により年々増加している耕作放棄地の解消も期待できる。</li> <li>・新規事業の立ち上げサポートにより、地元の雇用創出にも貢献。</li> </ul> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 伊予銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| タイトル  | 「せとうちDMO」への参画による観光支援の取組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 取組み内容 | <p>瀬戸内地域の観光産業活性化に向け、地方銀行6行（広島、中国、山口、阿波、百十四、みなと）および日本政策投資銀行とともに、瀬戸内ブランド推進体制（せとうちDMO）を構築し、観光関連分野に対する資金支援、経営支援の体制構築に向けた取組みを推進している。</p> <p>1. 経緯<br/> (1) 平成 27 年 7 月<br/> 瀬戸内地域の地方銀行6行および日本政策投資銀行と瀬戸内地域7県で構成する瀬戸内ブランド推進連合が、「瀬戸内ブランド推進体制に関する協定」を締結。<br/> (2) 平成 28 年 4 月<br/> A. (株)瀬戸内ブランドコーポレーションに発起人として2,500万円（4.42%）の出資を行い、女性職員1名を派遣。<br/> B. 「せとうち観光活性化ファンド」へ10億円出資。</p> <p>2. せとうちDMOの概要</p> |

番町記者クラブ各位

平成28年3月23日  
No. 16 - 068  
株式会社 伊予銀行

## 「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」に出資します！

～瀬戸内地域の観光産業活性化に向けて出資・職員派遣の両面で積極的に貢献～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、一般社団法人せとうち観光推進機構（1）と連携して瀬戸内ブランド推進体制（2）を構築するため、平成28年4月1日に設立予定である新法人「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」に対して、2,500万円を出資すると共に職員を派遣いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 出資の背景

政府が掲げる成長戦略の一つである「地方創生」において、地域金融機関の果たす役割が重要となる中で、当行は、瀬戸内地域の地方銀行6行（広島銀行、中国銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、みなと銀行）および日本政策投資銀行（DBJ）と共に、従来の資金調達だけでなく、観光関連事業者に必要な資金支援や経営支援などの具体的な施策、および支援を行う新法人の設立に向け、検討を重ねてまいりました。

平成27年12月16日の8行による新法人設立に向けた基本合意書の締結を経て、当行はこの度、新法人設立の趣旨にご賛同いただいた瀬戸内地域の金融機関や域内外の事業会社の皆さまと共に、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションへ出資することといたしました。

新法人では、一般社団法人せとうち観光推進機構と緊密な連携をとりながら、瀬戸内地域が国内外の多くの人から選ばれる地域となるために、観光関連事業者に対して経営支援や資金支援を行うことで、瀬戸内地域の価値の最大化を目指してまいります。

#### 当行の出資・職員派遣

| 項目    | 内容                 |
|-------|--------------------|
| 出資方法  | 発起人として2,500万円を金銭出資 |
| 出資予定日 | 平成28年4月1日（金）       |
| 引受株式数 | 25,000株（出資割合4.42%） |
| 職員派遣  | 1名（女性）             |

本件についてのご照会は下記までお願いします。

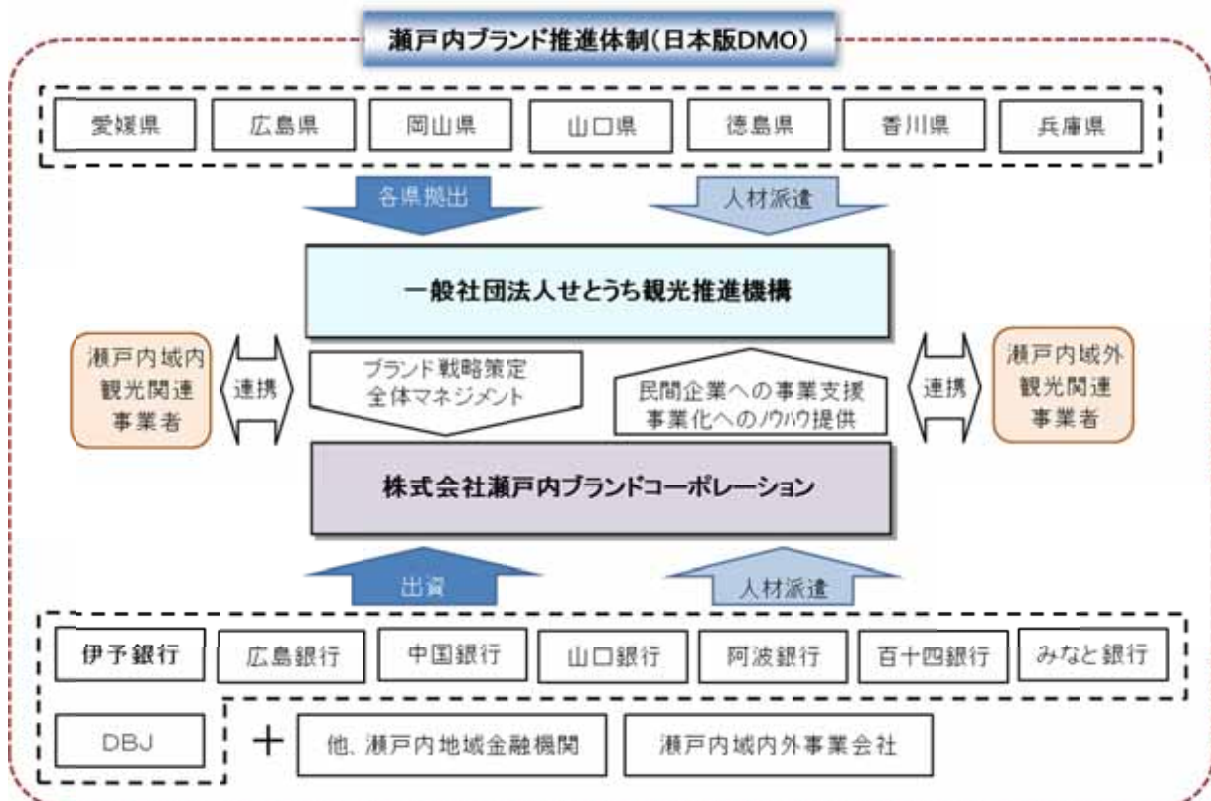
ソリューション営業部（担当：渡部、山路）TEL 089-941-1141（内線：2826、2822）

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション

| 項目    | 内容                                                        |
|-------|-----------------------------------------------------------|
| 商号    | 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション                                       |
| 代表者   | 代表取締役社長 水上 圭(みづかみ けい)                                     |
| 本社所在地 | 広島県広島市中区基町10番3号                                           |
| 従業員   | 15名                                                       |
| 資本金   | 4億5000万円(総出資額5億6500万円)                                    |
| 出資者   | 事業会社27社、金融機関19社                                           |
| 設立予定日 | 平成28年4月1日                                                 |
| 事業内容  | 事業化・事業拡大・新規事業開発に必要な経営支援<br>事業化および成長に必要な資金の供給<br>DMS(3)の開発 |

- (1) 一般社団法人せとうち観光推進機構  
瀬戸内ブランドの確立を目的とし、代表者を民間人、理事を愛媛県、広島県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、兵庫県の7県とする平成28年4月に設立予定の一般社団法人。
- (2) 瀬戸内ブランド推進体制  
瀬戸内エリアの価値向上のため、一般社団法人せとうち観光推進機構、観光関連事業者、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションが連携する体制。これは、国が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、魅力ある観光地域づくりの推進母体として位置づける日本版DMO(4)に当たるものである。
- (3) DMS  
Destination Management Systemの略。DMOの活動を支援するために、様々なチャネルやプラットフォームを統合し、観光コンテンツ等を包括的に配信(サービス化)する仕組み。
- (4) DMO  
Destination Management Organizationの略。戦略策定、各種調査、マーケティング、商品造成、プロモーション等を一体的に実施する、主に米国・欧州で見られる組織体。

瀬戸内ブランド推進体制



以上

番町記者クラブ各位

平成28年3月23日

No. 16 - 069

株式会社 伊予銀行

## 「せとうち観光活性化ファンド」の組成に参加します！

～観光関連事業者への成長資金の提供を通じて瀬戸内のブランド化に貢献～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、平成28年4月1日に設立予定の「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」に関連して、同日付で組成する「せとうち観光活性化ファンド」に10億円を出資いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 出資の背景

当行は、瀬戸内地域の地方銀行6行（広島銀行、中国銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、みなと銀行）および日本政策投資銀行（DBJ）とともに、瀬戸内地域の観光産業活性化に向けた新法人設立に関する「基本合意書」を締結しておりますが、この度、平成28年4月1日に当該新法人として「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」を設立する運びとなり、同時に、前記8行に加え、ジェイ・ウィル・グループ傘下の株式会社ジェイ・ウィル・アドバンスおよび株式会社海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）の参加を得て、「せとうち観光活性化ファンド」を組成することになりました。

政府が掲げる成長戦略の一つである「地方創生」において、地域金融機関の果たす役割が重要となる中で、瀬戸内7行および日本政策投資銀行は、従来の資金調達だけでなく、観光産業において、資本金を中心とする成長資金の担い手として本ファンドを組成し、観光関連事業者に対して必要な資金支援を行ってまいります。

#### せとうち観光活性化ファンド

| 項目     | 内容                                                                                                                                                                      |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号     | せとうち観光活性化投資事業有限責任組合                                                                                                                                                     |
| 組成日    | 平成28年4月1日（予定）                                                                                                                                                           |
| 所在地    | 広島県広島市                                                                                                                                                                  |
| ファンド総額 | 90億円（組成日時点、今後増額を予定）                                                                                                                                                     |
| 組合員構成  | 無限責任組合員（GP）<br>株式会社せとうち観光パートナーズ<br>有限責任組合員（LP）<br>株式会社伊予銀行、株式会社広島銀行、株式会社中国銀行<br>株式会社山口銀行、株式会社阿波銀行、株式会社百十四銀行<br>株式会社みなと銀行、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）<br>株式会社海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構） |

本件についてのご照会は下記までお願いします。

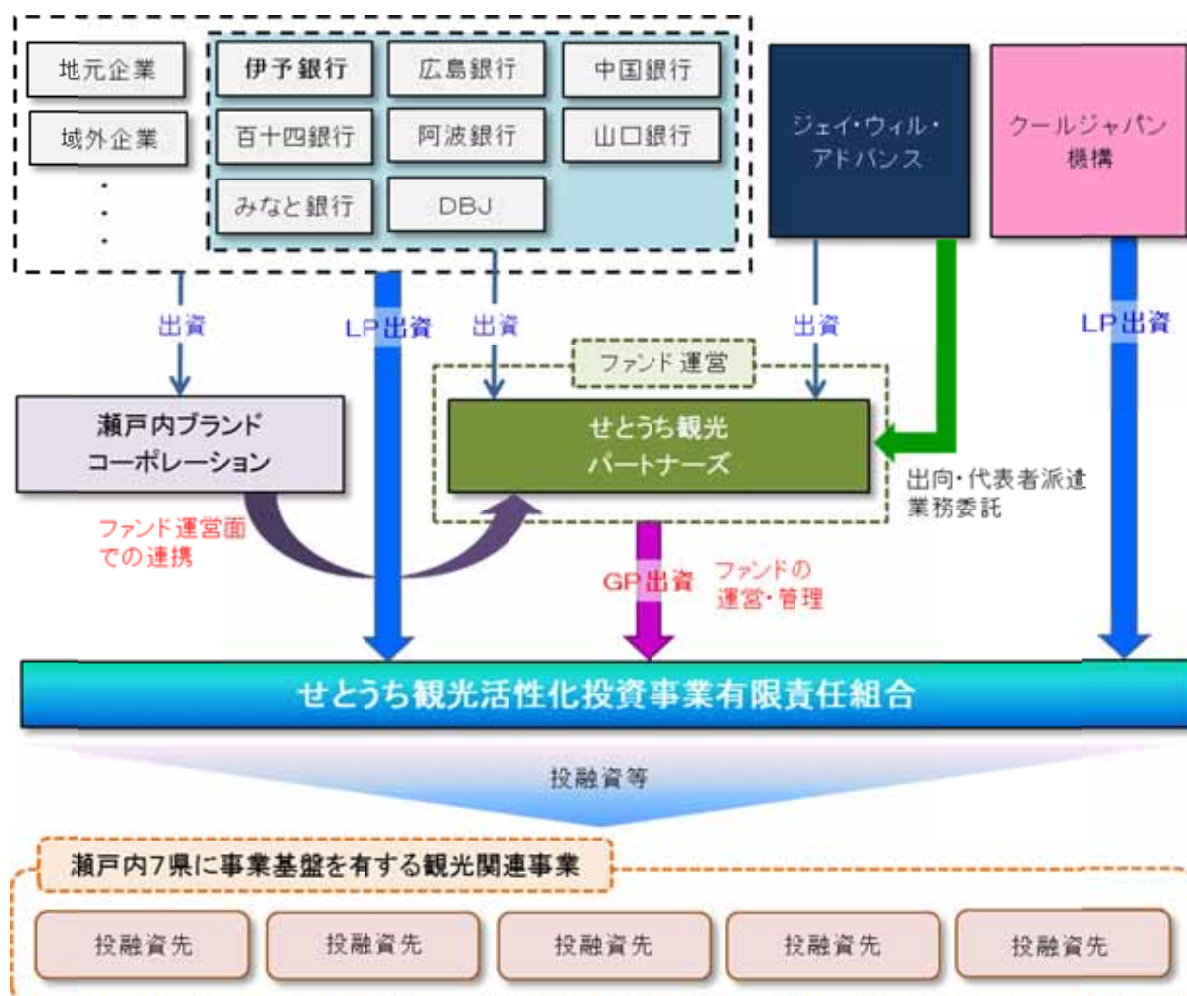
ソリューション営業部（担当：渡部、山路）TEL 089-941-1141（内線：2826、2822）

ファンド運営会社

| 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                  |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号    | 株式会社せとうち観光パートナーズ                                                                                                                                                                                    |
| 代表者   | 代表取締役社長 白畑 敦則（しらはた あつのり）                                                                                                                                                                            |
| 本社所在地 | 広島県広島市中区基町10番3号                                                                                                                                                                                     |
| 設立日   | 平成28年3月17日（平成28年4月1日営業開始予定）                                                                                                                                                                         |
| 事業内容  | せとうち観光活性化ファンドの運営・管理                                                                                                                                                                                 |
| 株主    | 瀬戸内7行<br>株式会社日本政策投資銀行（DBJ）<br>株式会社ジェイ・ウィル・アドバンス<br>ジェイ・ウィル・グループは、日本国内投資家の資金を日本企業へ還流させることで地域経済の活性化・発展に寄与することを目的としたファンド運営会社である株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズの他、株式会社ジェイ・ウィル・アドバンスを含む計6社で構成され、多様な金融ソリューションを提供しています。 |

<ご参考資料>

せとうち観光活性化ファンド体制図



以上

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 伊予銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| タイトル  | 「ものづくり支援チーム」による地域産業の課題解決の取組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 取組み内容 | <p>1．造船業界の課題に対する取引先サポート</p> <p>(1) 具体的案件事例</p> <p>造船会社より船舶内の振動・騒音防止技術について課題があるとのニーズをキャッチし、当行より防振素材開発企業を紹介し実証試験を開始した。本件取組みを聞きつけた同業他社からも依頼があり、防振効果が期待できる素材の開発企業を紹介し、現在、実船で効果確認中である。</p> <p>(2) 活動内容</p> <p>当行は造船会社、エンジンメーカー等が出資する省エネ船舶関連技術開発企業に出資し、同社会議等で先端技術情報等を提供するとともに、造船業界が抱える技術的課題について情報収集を実施した。収集した情報については、県内企業と連携し解決策について模索中である。今後は愛媛県等と連携し、炭素繊維複合素材の船舶へ応用について、関係企業、団体等に提案の予定。</p> <p>2．「高品質フライアッシュ」に関わる県内企業の連携</p> <p>(1) 具体的案件事例</p> <p>高品質フライアッシュの利用ニーズのある企業を同製品メーカーに紹介。高品質フライアッシュを生コンに混ぜることを検討している。</p> <p>9月より高品質フライアッシュの生コンへの配合試験を開始予定であり、メーカーからは100Kgのサンプルを送付予定である。</p> <p>(2) 活動内容</p> <p>同製品メーカーは、火力発電所より排出される石炭灰より高品質フライアッシュを作り、コンクリートに混ぜて良質のコンクリート混和材として販売している。</p> <p>フライアッシュコンクリートのコストは通常のコンクリートと比べて10%程度上がるものの、長寿命、耐震性の高さ、施工性が良いなどの利点が多いことから、愛媛県等の官公庁への販売を検討しているが、なかなか実績に繋がらないことから当行に相談があったものである。</p> <p>当行が仲介して愛媛県を紹介し、愛媛県「新事業分野開拓者認定制度」で認定されるに至った。</p> |



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 四国銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| タイトル  | 量販店の6次産業化・農業法人設立支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 取組み内容 | <p><b>【経緯】</b></p> <p>(1) B社(スーパーマーケット他経営)社長から営業店担当者へ、農業参入(有機野菜生産/川上に参入する6次産業化)に関する相談あり。お客さまサポート部(現 法人サポート部)と連携し、農業参入(創業)支援を開始。</p> <p>(2) 地域のモデルケースと成り得る取組みを支援するため、当行、日本政策金融公庫(以下、公庫)、高知県、四万十町が支援チームを結成。</p> <p><b>【取組み内容】</b></p> <p>(1) 当行は支援チーム結成前に、事業スキームや新会社を設立する際の法人形態に関する助言を行ったほか、今後の事業承継(経営承継)を見据えた当プロジェクトへの後継者の参画を提案。</p> <p>(2) 支援チーム結成後は、高知県、四万十町が生産技術面や農業資材調達に関する助言を行ったほか、高知県産業振興計画のアクションプラン申請(補助金関連)を支援。資金調達スキームの構築では、当行と公庫が連携し、当行プロパー資金、公庫/スーパーL資金・劣後ローンの活用を提案。</p> <p>(3) 事業計画策定段階においては、B社の社長・後継者、支援チーム担当者が参加した会議で、事業計画のブラッシュアップを行った。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1) B社は農業参入するにあたり、後継者を社長とした別法人C社を設立。現在、有機野菜の生産を開始している。</p> <p>(2) 当行は、プロパー手貸10百万円(運転資金)、公庫スーパーL資金代理貸5.5百万円(設備資金)を実行。公庫は劣後ローン10百万円を実行。</p> <p>(3) このほか、高知県産業振興計画のアクションプランにC社の事業が採択された。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名    | 筑邦銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| タイトル   | PPP事業（自治体による電力小売事業）への取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 取り組み内容 | <p>平成27年2月設立の福岡県みやま市による地域電力会社「みやまスマートエネルギー株式会社」による公民連携事業（PPP）を支援中。<br/>     当行は投融資のみならず、事業への提言、専門家の紹介、販路開拓支援等を通じて、みやま市が行うスマートエネルギー事業（地方創生への取り組み）を支援している。</p> <p><b>【創業支援】</b><br/>     当行は事業計画段階から関与し、資本金20百万円の内、1百万円を出資している。尚、他にみやま市が11百万円、地元企業が8百万円を出資している。また、当行行員が社外取締役役に就任し、人的支援も行っている。</p> <p><b>【事業計画支援】</b><br/>     会社設立以降は、事業開始に向け、社内体制（運営・管理等）の構築に向けたアドバイスや各種補助金申請の支援、専門家の紹介等、継続的な支援を行っている。</p> <p><b>【電力事業支援】</b><br/>     平成27年11月、みやま市庁舎への電力供給が開始され、今後は市民生活支援サービス（見守りサービスや買い物支援等）を融合した地域循環型の事業の展開を進めている。</p> <p>同時に、電力需給管理については、みやま市、みやまスマートエネルギー(株)、九州大学、電機メーカーおよび当行でコンソーシアムを形成し、産官学金の連携による効率的な需給管理システムの実証実験を進めている(九州大学のビッグデータ解析技術を活用)。</p> <p>また、電力事業の運転資金等について、当座貸越枠を設定し、資金対応を図っている。</p> <p><b>【取り組み効果】</b><br/>     上記のみやま市のスマートエネルギー事業への取り組みは、2015年グッドデザイン賞の金賞を受賞しており、同市が進める地方創生の取り組みが市内で広がってきている。</p> <p>エネルギーの地産地消として、みやま市も出資するソーラー事業（5メガ）等から再生可能エネルギーを調達し、みやま市の公共施設や民間事業者等への電力供給を行っており、地域循環型の事業が進捗している。<br/>     上記メガソーラー事業については、平成25～26年に当行が調整行となり、プロジェクトファイナンス形式の協調融資14.7億円を実行している。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 筑邦銀行                                                                                                                                                                                                                    |
| タイトル  | A B L（動産担保）を活用した融資の取組み                                                                                                                                                                                                  |
| 取組み内容 | <p>肉用牛の生産を取組む畜産業者に対し、A B Lを活用した融資を実行。</p> <p>肥育牛農家より、経営規模拡大に取組む際の資金として相談があり、動産（肥育牛）を担保とした融資取組みを行った。</p> <p>A B L取組みにより、動産のモニタリングが可能となり、取引先の実態把握にもつながった取組み。</p> <p>今後は、自社でのブランド化も検討しており、ビジネスマッチング等を行い、継続した支援を実施していく。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 佐賀銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| タイトル  | 地域における成長産業への支援（6次産業化支援）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 取組み内容 | <p>6次産業化支援の取組みとして、平成25年11月1日(株)農林漁業成長産業化支援機構（以下、機構）の出資を活用して「6次産業化応援ファンド第1号」を設立、付加価値の高い「農林漁業（1次産業）」の資源を、2次・3次産業と連携させ事業化を促進し、地域経済の活性化、地域再生、雇用拡大に寄与することを目的に、行政や6次化サポートセンター、機構などの専門部署と連携しながら同ファンドの活用を中心に取組んでいます。</p> <p>機構と地域金融機関等が設立した6次産業化ファンドにおいて、平成28年4月19日に県内で初めてとなる投資を決定し、（平成28年6月10日現在、全国94件の実績）同年6月30日に実行しました。現在、その他に具体的な案件もあり（4件）今年度の出資に向けて弊行関連会社と、農林漁業成長産業化支援機構と連携して取り組んでいます。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 佐賀銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| タイトル  | 医療機関（病院）病床機能転換の支援取組み事例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 取組み内容 | <p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般 60 床（15 対 1）、医療療養 60 床（基本料 2）のケアミックス病院。</li> <li>・同病院経営者より、これまで安定していた病床稼働率が低下基調（これまで多かった基幹病院 B 医療センターからの患者受入減）にあり体制面の見直しが必要と考え、今後の医療動向を踏まえた当病院の方向性をアドバイスしてほしいとの依頼を受けました。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性検討にあたり、下記事項の調査を行いました。<br/>       病院周辺（医療圏）人口動態、今後の推移<br/>       近隣急性期病院（患者紹介先）の状況<br/>       近隣競合先病院（慢性期病院）の状況・動向</li> <li>・上記調査事項より基幹病院 B 医療センターからの患者転院減少要因のひとつとして在宅復帰機能強化加算未取得がある可能性を示唆し、他近隣病院で在宅復帰機能強化加算算定病院を調べたところ、公表ベースで近隣に 3 病院が取得運営していました。</li> <li>・他病院動向を踏まえ現状病床機能維持での経営では地域包括ケアシステムのなかでの連携・機能充実が厳しいものと判断し、下記内容での病床転換策を提案しました。<br/>       医療療養 2      医療療養 1    へ<br/>       医療療養病棟の在宅復帰機能強化加算の算定<br/>       一般病床 15 対 1      回り八・地域包括ケア病棟への転換模索</li> <li>・最終的に現状運営体制で即時取組可能であった    を採用頂く。</li> <li>・医療療養 2    1 への転換において、必要事項となる<br/>       「既往入院患者医療区分の状況」、「必要人員体制の補充人員の検証等支援」も行う。</li> </ul> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果として従来入院患者での医療区分要件はクリア、補充人員も 2 名程度で賄えることが確認できたことより、半年内での転換が可能となり早期転換に至りました。</li> <li>・また、今回見送りとなった項目（    ）の将来取組みを見据え、周辺医療介護事業者（近隣急性期病院をはじめクリニック・介護事業者）についても院長が接点・関係構築を行うこととなり、連携意識の向上に寄与できました。それにより病床稼働率も転換前比較で 10%程度改善しました。</li> </ul> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 親和銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| タイトル  | 「水産事業者向け個別相談会」の開催（産学連携の取組強化）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 取組み内容 | <p>長崎県の海面漁業・養殖業生産量は26万5千トン、生産額は921億円で、ともに全国2位（平成25年）となっており、水産業は加工・流通業や造船業などの幅広い関連産業を支える基幹産業である。</p> <p>一方、水産関連業者は、燃油や飼料高騰等による経営環境の悪化や後継者不足により漁業経営者数が減少し、さらには様々な課題を専門家に相談する場が少ないのが実情である。</p> <p>このような中、水産業の振興を図るため、連携協定を締結している長崎大学（水産学部）と当行が主催、長崎県、松浦市、平戸市が後援となり、松浦市において「基調講演」ならびに「個別相談会」を平成28年3月8日に開催した。</p> <p>個別相談会には19の業者が参加し、主催者である大学は、教授、准教授10名、大学院生5名、総勢15名、1回の相談に3名体制の人員を配置した。長崎県、松浦市、平戸市は補助金による支援を、親和銀行は来場者の募集案内を行った。</p> <p>基調講演は、長崎大学水産学部の教授2名により、「養殖魚の安全と安心」、「第三者の目線を活かす」と題して各20分程度行った。</p> <p>個別相談会は、参加者から事前に提出いただいた相談内容について、大学から専門的なアドバイスを受ける形で進めた。</p> <p>この産学連携の取組みは、今後も離島を含めた県内各地域で開催していくこととしている。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 肥後銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| タイトル  | 食と観光に関するフェア実施による国内外に向けた情報発信                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 取組み内容 | <p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで県内ものづくり産業PRの機会創出をメインに「産業ビジネスフェア」を8回開催し、県内ものづくり産業界や関係機関などに対して、地域金融機関としての一定の役割を果たしてきた。</li> <li>・昨今の「地方創生」気運の高まりから、「ものづくり」に特化したフェアを刷新し、“熊本の魅力と可能性”を発信するイベントへ発展させたいと検討。</li> <li>・熊本県の主要産業である農業と観光を中心とし、各自治体、農業団体、地場企業、大手企業等と連携した地域色豊かなイベントを実施。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「熊本の魅力と可能性を世界へ発信」をコンセプトに、展示ゾーンを大きく3つに分け、地域観光資源の紹介や農林水産分野の技術紹介を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本の「農」のカゾーン <ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業による食品加工業の技術紹介や試食販売</li> </ul> </li> <li>熊本の地域のカゾーン <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村による観光・伝統・祭り・特産品の展示・販売</li> </ul> </li> <li>熊本の可能性ゾーン <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本から明日と未来を繋ぐ技術力を発信する企業の展示</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・その他、全長約9mの巨大スクリーンによる熊本の自然風景放映、農業関連団体の協力を得て作成した穀物や花で作られたオブジェ、県産野菜を使用した巨大タワー等を展示。</li> <li>・また、海外へ向けた情報発信を行うため、外国人留学生等の誘致を行った。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2日間で約16千人が来場し、アンケート回答者の8割以上が「良かった」と回答する等、満足度の高いフェアとなった。</li> <li>・来場者については、初めて知る企業が多かったことや、熊本の農林漁業に興味を湧いたとの声が多数あり、「熊本の魅力の再発見」に繋がった。</li> <li>・熊本大学、立命館アジア太平洋大学（APU）から合計約30カ国、150名の外国人留学生を誘致。海外に向かって熊本の魅力を300件以上の情報を発信。</li> <li>・外国人留学生を中心に市街地にも誘導し、マーケティング活動を実施。外国人対応に関する課題抽出に繋がった。</li> </ul> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 肥後銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| タイトル  | 県内医療機関への取引推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 取組み内容 | <p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費の適正化を図るべく、都道府県毎に病床削減を含む病床再編が求められている。特に、介護療養病床は平成 30 年 3 月に廃止が予定されており、各医療機関では、自院の病床機能の再編が大きな関心事となっている。</li> <li>・また、県内医療機関では理事長の高齢化が進んでおり、好業績を重ねてきた医療機関にとっては、医療法人の事業承継が大きな課題であり、国は、医療法人の継続性を確保の為、事業承継における優遇策を展開。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の公的医療機関等を除く病院に対して、病床再編ニーズ及び事業承継ニーズのヒアリングを実施。</li> <li>・病床再編の事例及び介護施設への転換事例等を紹介し、病床転換に伴う融資対応を実施。</li> <li>・事業承継の意向がある医療機関に対しては、医療法人における事業承継の概要説明やスキーム提案を実践。事業承継に伴う納税資金等の融資対応実施によりサポート。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病床再編を検討する医療機関に対して、実例を示し病床再編を後押し。</li> <li>・事業承継支援による医療機関の継続性確保に寄与</li> </ul> |



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 宮崎銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| タイトル  | オール宮崎産の地ビール製造支援の取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 取組み内容 | <p>1.取組み経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「宮崎ひでじビール株式会社」は、宮崎県内唯一の地ビール・発泡酒専門メーカー。</li> <li>・地ビールメーカーでは数少ない自家培養酵母を使用。</li> <li>・従来、輸入に頼っていた麦芽を宮崎県産に切り替え、オール宮崎産の地ビールを製造。</li> <li>・県産大麦や果樹など地元の素材を積極的に使用して商品開発・製造。</li> <li>・増産要請に応じた設備投資を計画</li> </ul> <p>2.取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場増設資金の一部について、国の補助事業を紹介し、総務省が本案件を補助事業として採択。</li> <li>・設備資金の一部について、当行融資を利用。</li> </ul> <p>3.取組み成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資が売上増加に繋がり、当社の成長戦略に貢献。</li> <li>・県産大麦や果樹などの地元農産物の消費拡大。</li> <li>・「地産外消」により大消費地からの外貨獲得。</li> <li>・新規雇用者数 11 名。</li> <li>・当行との融資取引拡大。</li> </ul> |

## 宮崎ひでじビール株式会社

宮崎県延岡市五ヶ瀬川水系の上流にある標高831mの行藤山の麓に醸造工場を構えます。保存料や発酵促進剤は一切使わず世界に通用するビール造りを行っています。『延岡から世界へ!』クラフトビールブームの追い風に乘って、さらなるチャレンジを展開中。

◎宮崎ひでじビール株式会社 ひでじビール醸造所  
☎0982-39-0090 延岡市むかばき町 747-58



宮崎農援プロジェクトで企画された発泡酒3本セット『宮崎の実り(ゆず・日向夏・きんかん)』。宮崎を代表する農産物、きんかん、日向夏、ゆず果汁を副原料の一部に使用し、香り豊かな味わいに仕上がっています。

宮崎農援プロジェクトで企画された発泡酒3本セット『宮崎の実り(ゆず・日向夏・きんかん)』。宮崎を代表する農産物、きんかん、日向夏、ゆず果汁を副原料の一部に使用し、香り豊かな味わいに仕上がっています。



左/宮崎県高原町「はなどう」産の大麦を使用した「穂倉金生」。中/ひでじビールの代表商品「太陽のラガー」。右/マンゴー果汁のまるやかさが特徴的「宮崎マンゴーラガー」

### Voice



これからもがっちり  
タッグを組んで行きま  
しょう!

延岡営業部  
黒木 誠一郎

### 社長が笑って話す時は大丈夫!

工場増設の決断は6年前、母体となっていた会社がビール事業を断念した時、ビール事業統括だった永野さんが従業員の手で会社を存続したいと考えられた時に続く、大きな決断だったと思います。永野社長からはよく「返さないでいいお金の話を持ってきてくれ」と言われますが、社長が笑って話す時は経営は大丈夫なんです。これからもしっかりサポートしていきたいと思います。

拡大し、生産が追いつかないという嬉しい悲鳴に工場増設を決意しました。永野社長は「ブームはいつか去ります。それは確かに怖いことですが、進むべき方向は固まっています。現在、ヨーロッパ、台湾・東南アジア・アメリカの4大市場に輸出展開しています」。大手メーカーに比べると設備などの面で価格競争には限界があります。しかし、「このくらいの規模だか

らチャレンジ出来ることもあるんです。価格競争はしません。うちのビールの味わいはほかに負けませんよ。なぜならオール宮崎で作っているからです」と誇らしげに話す永野社長。



ブームが去っても大丈夫だと言わんばかりに明るい永野社長



大麦を発芽させ、乾燥・脱根と全て自社で完結する麦芽化(モルティング)にも成功。出来立ての麦芽を直ぐに仕込みに使えるのは、他社には出来ない強みです。

までには、宮崎銀行のさまざまなサポートがありました。いつの日かオール宮崎で作られたクラフトビールが、世界を席巻する日がやって来るのが楽しみです。

# オール宮崎で製造した クラフトビールを世界に届ける

宮崎ひでじビール株式会社



延岡生まれの醸造タンク

ひでじビールの醸造所は、延岡市むかばき溪谷の麓にあります。工場の向かい側には悠然と行藤山が佇み、日本の滝100選に選ばれた行藤の滝が白い糸を垂らしています。大自然に育まれた上質な天然水を仕込み水に使い、高品質なビールと宮崎の農産物を使った発泡酒を醸造し、国内外に販売しています。東京や大阪などの都市部では、かつてないほどの地ビールクラフトビールブームが起っています。追い風が吹く中、高原町産大麦を用いて製造した「穂倉金生」が「インターナショナルビアコンペティション2012」で最高金賞を受賞するなど、世界的なコンテストで高評価を受け、売上も順調に

宮崎県の地域中核的企業の第一号認定企業「宮崎ひでじビール株式会社(延岡市)」。増産体制を整えるために工場を増設した同社永野時彦社長に話を伺いました。

追い風に乘った方がいいが、ブームはいつか落ち着くもの

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 宮崎銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| タイトル  | <small>みょうげん</small><br>「妙見温泉郷」活性化への取組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 取組み内容 | <p>1. 取組み経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い業種を対象に、株式・社債引受等の多様な資金調達手段を提供することで、地元企業の成長を支援し、地方創生に貢献するため、平成 27 年 10 月に宮銀ベンチャーキャピタル(株)と共同で「みやぎん地方創生 1 号ファンド(5 億円)」を組成。</li> </ul> <p>2. 取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島県霧島市の妙見温泉郷にある「株式会社おりはし旅館」に対し、抜本的リニューアル資金を支援。</li> <li>「みやぎん地方創生ファンド」「宮崎銀行(国分支店)」「日本政策金融公庫」の協力で資金対応。</li> <li>ビジネスマッチング(ホームページ作成業者の紹介)、グループ会社である宮銀リース、宮銀カードの紹介等、資金対応以外の面でも支援。</li> </ul> <p>3. 取組み成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当旅館を含めた妙見温泉郷は、霧島と並び立つ当地観光の要であり、地域経済・観光の活性化および雇用の創出に繋がっている。</li> </ul> <p>～ 参 考 ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業明治 12 年、いで湯の里と称される妙見温泉郷で最古(発祥)の宿。</li> <li>創業の発端である「キズ湯」を活かした湯治場として人気。</li> <li>天降川河畔、奥山をとり巻く 7 万坪余りの広大な敷地に点在する新旧の宿、自然林、溪流の風情あり。</li> <li>源泉 100%の湯殿と露天風呂、地元鹿児島の食材を活かした、おもてなしの料理を提供。</li> <li>鹿児島空港より車で約 20 分、JR 隼人駅より車で約 15 分と立地良好。</li> </ul> |

老舗温泉旅館がリニューアル

# 山懐に抱かれた歴史ある秘湯

## 妙見温泉 おりはし旅館

数々の名湯が点在する鹿児島県。

その一つ「妙見温泉郷」の原点ともいわれる創業140年の「おりはし旅館」が、「みやぎん地方創生1号ファンド」を利用してリニューアルしました。

**天** 孫降臨の地、霧島連山に源を発し、錦江湾へと注ぐ天降川。「おりはし旅館」は、その中流域の渓谷沿いに広がる妙見温泉郷に、山々に抱かれるようにして静かに佇みます。

明治10年、西南戦争で傷ついた薩摩の兵士が、この地のお湯につかったところ、傷

がすっかり治ったことから「ギズ湯」としてその名が広まり、その2年後に湯治宿として創業。数ある妙見温泉郷の宿の中で最も長い歴史を誇ります。

大正から昭和初期にかけては、鹿児島島の奥座敷として、多くの文人墨客に愛されました。昭和4年には、与謝野鉄幹・晶子夫妻も滞在し、二人が宿泊した離れは、今も変わらず客人を迎えています。

そんな由緒ある「おりはし旅館」が、歴代の女将によって受け継がれてきたもてなしの精神はそのままにリニューアル。女将の巻睦子様が「ここがなければ、おりはしの歴史は語れない」と話す大正2年築の本館を中

心に、7万坪あまりの敷地に新旧10の離れが点在。離れは一棟一棟趣向が異なり、すべてに内風呂と露天風呂が付く贅沢なつくりで、心ゆくまで名湯を堪能できます。



大正期の風情を残す本館2階の客間。貴重な大正ガラスの窓越しに新緑を眺める。

### Voice

#### サポート体制は何重にも

国分支店を通じて今回のお話をいただいてから、営業統括部では融資案件をさらに多角的に検討するなど、お客さまにとってそれが最適な提案なのか検討してきました。私たちもご相談に加わることで、よりお客さまの将来を見据えたご提案のサポートをさせていただいております。



私たちがサポートします！

営業統括部ソリューション推進班  
調査役 長濱 真司

#### “妙見温泉郷” 活性化のために

今回、「みやぎん地方創生1号ファンド」鹿児島地区初の案件として「おりはし旅館」様に投資させていただきました。

決め手となったのは、「妙見温泉郷最古の旅館を復活させたい」という地元企業や商工会議所の方々、そして「おりはし旅館にお客さまがやって来てくれることで、妙見温泉郷全体を盛り上げたい」という女将の地元への熱い想いです。

地方企業の成長を支援し、地方創生に貢献するという当ファンドの目的をひとまず果たすことができ、うれしい限りです。宮崎の皆さまにもぜひ、生まれ変わった「おりはし旅館」に足を運んでいただきたいですね。



国分支店  
支店長 国部 直



①おりはし旅館の起源とも言えるきず湯(右)。/②「こんなにいいお湯。たくさんの方々に入っていただきたい」と、女将の巻睦子様。/③木々に囲まれて佇む離れ。そばを流れる天降川のせせらぎがこちよ。/④大露天風呂「えのきの湯」は立ち寄りでも利用できる。



妙見温泉 おりはし旅館

鹿児島県霧島市牧園町下中津川 2233  
0995-77-2104

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 鹿児島銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| タイトル  | 自治体向け観光商談会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 取組み内容 | <p>(1) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都内の旅行会社および出版社を中心とした 20 社程度との観光商談会を昨年度に引続き、自治体（広域連携先含む）向けに開催し、以下の支援を実施する。<br/> 鹿児島への観光客誘致の支援<br/> 観光客送客に向けた旅行会社のニーズ把握および市町村単位での旅行会社とのネットワーク構築支援</li> <li>また、今回は熊本地震復興支援として、同じ九州フィナンシャルグループである肥後銀行を通じ、熊本県内自治体にも出展を提案する。</li> </ul> <p>(2) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時 = 平成 28 年 9 月 1 日(木) ~ 2 日(金)</li> <li>会場 = 池袋サンシャインシティ ワールドインポートビル 5F</li> <li>主催 = 当行・北洋銀行による共催</li> <li>出展者(予定) : 13 団体（広域連携先含む） 計 24 自治体<br/> （鹿児島 : 11 団体）<br/> 観光かごしま大キャンペーン推進協議会、鹿児島市、出水市、指宿市、霧島市、薩摩半島観光振興協議会、同協議会、薩摩川内市観光物産協会、大隅広域観光開発推進会議、鹿屋市、阿久根市<br/> （熊本 : 2 団体）<br/> 熊本県・熊本市、天草市</li> <li>出展費用 = 当行負担（旅費・交通費のみ出展者負担）</li> </ul> <p>(3) 本商談会によって想定される効果（前回実績含む）</p> <p>(出展者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の旅行会社や出版会社とのネットワーク構築。</li> <li>自市町村によるバイヤーへの観光資源の直接的な P R 機会の獲得。</li> </ul> <p>(バイヤー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村単位目線での、より深掘りされた観光資源の情報収集。</li> <li>県内の観光周遊ルート形成への一助。</li> </ul> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 銀行名   | 鹿児島銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| タイトル  | システムソフトを活用した医業分野の推進について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 取組み内容 | <p>1．背景と目的<br/>平成 19 年に医業分野の推進に特化した専担部署を立ち上げ、以降医療・介護・福祉事業者向けの支援を行ってきた結果、同分野への与信残高は 2,700 億円を突破し、純一般向け貸出残高に占める割合は 20%に迫る勢いとなった。営業推進とリスク管理の両面における活用、並びに取引先の事業性評価への活用を目的に医療介護営業支援システム Trovo-medical を開発した。</p> <p>2．システムの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の医療・介護・保険薬局の最新情報を瞬時に検索</li> <li>・競合先との比較やマッピング分析が容易</li> <li>・全国の二次医療圏の人口推移や病床数を予測</li> <li>・病診連携や地域包括ケアを可視化し、イメージ図にて表示</li> </ul> <p>3．活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省が提唱する 2025 年モデルに向けて病床機能分化への動きが活発化しているが、取引先の経営層との今後の方針に関する意見交換において本システムのデータを活用している。</li> <li>・本システムのデータベースを医薬品企業や不動産管理会社でも利用しており、業種を超えた情報交換会を定期的を開催している。</li> </ul> <p>4．システム開発元について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発元 株式会社サザンウィッシュ</li> <li>・株主 鹿児島銀行、野村総合研究所 他</li> <li>・設立日 平成 27 年 4 月 10 日</li> <li>・事業内容 システムソフト開発、システムコンサルティング等</li> </ul> |